

bizhub 501/421/361

ユーザーズガイド 拡大表示機能編



はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイド〔拡大表示機能編〕は bizhub 501/421/361 の拡大表示機能の操作方法、使用上の注意などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくため、必ずご使用の前にこのユーザーズガイド〔拡大表示機能編〕を最後までお読みください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず別冊の「安全にお使いいただくために」をお読みください。

商標およびライセンスについては、別冊の「商標／ライセンスについて」をごらんください。

このユーザーズガイド〔拡大表示機能編〕内で使用しているイラストなどは、実際の製品と異なる場合があります。

ユーザーズガイド内のマークについて

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害のみを負う可能性が想定される内容を示しています。
安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



必ず守ってください

- 操作上の注意事項です。指示内容をよく読んで、必ず行ってください。



詳しく説明します

- 操作手順や内容に関して、さらに詳しく説明しています。



参照

参照先を指示します。必要に応じてごらんください。

〔 〕 タッチパネル上のキー名称を示します。

【 】 操作パネル（タッチパネルを除く）のキー名称、電源スイッチなどを示します。

はじめに	1
ユーザズガイド内のマークについて	1
I もくじ	2

第 1 章ご使用いただく前に

1.1 操作パネル部の名称とはたらき	1-2
1.2 操作パネルの角度をかえる	1-4
1.2.1 操作パネルの角度のかえかた	1-4
1.3 拡大表示画面について	1-6
1.3.1 拡大表示機能の画面を表示するには	1-6
1.4 タッチパネルについて	1-7
1.4.1 タッチパネルの操作	1-7
1.4.2 画面内で表示されるアイコンについて	1-7
1.4.3 用紙種類の表示	1-8
1.4.4 用紙残量の表示	1-9
1.5 原稿をセットする	1-10
1.5.1 ADF に原稿をセットする	1-10
1.5.2 原稿ガラス上に原稿をセットする	1-11
1.6 原稿の設定をする	1-13
1.6.1 サイズの異なる原稿をセットする（混載原稿）	1-13
1.6.2 折りぐせのついた原稿をセットする（Z 折れ原稿）	1-15
1.6.3 原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）	1-16
1.6.4 とじしろを設定する（原稿のとじしろ）	1-18

第 2 章コピー機能の使い方

2.1 コピー操作の流れ	2-2
2.2 用紙を選ぶ	2-4
2.2.1 自動的に用紙を選択する（自動用紙）	2-4
2.2.2 手動で目的の用紙を指定する	2-5
2.3 倍率を選ぶ	2-7
2.3.1 倍率の選択のしかた	2-7
2.4 原稿＞コピー機能を選ぶ	2-9
2.4.1 片面コピーまたは両面コピーを選択する	2-9
2.5 ページ集約を選ぶ	2-12

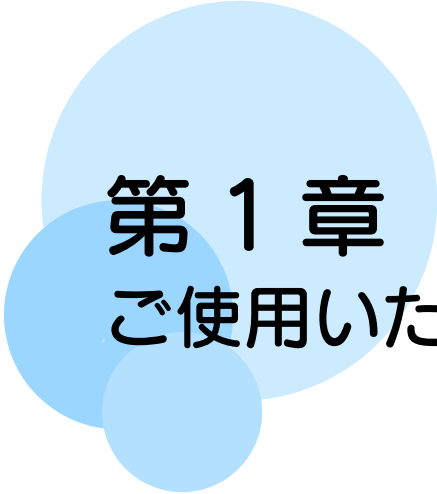
2.6	仕上り機能を選ぶ	2-14
2.6.1	排紙方法を選択する	2-15
2.6.2	ステープル／パンチを設定する	2-16
2.6.3	用紙の折りやとじを設定する	2-17
2.7	回転しないを選ぶ	2-19
2.8	原稿の画質を選ぶ	2-20
2.9	濃度を選ぶ	2-22
2.9.1	印刷濃度を調整する（濃度）	2-22
2.9.2	下地濃度を調整する（下地調整）	2-23
2.10	用紙設定	2-25
2.10.1	手差しトレイの用紙種類の設定	2-25
2.10.2	手差しトレイの用紙サイズを指定する	2-27
2.11	印刷中に次のコピー原稿を読み込む（コピー予約）	2-30
2.12	読み込み・印刷を一時停止する	2-31
2.13	コピーの仕上りを確認する（確認コピー）	2-32

第3章 ファクス / スキャン機能の使い方

3.1	ファクス／スキャナー操作の流れ	3-2
3.2	宛先を指定する	3-4
3.2.1	登録宛先から送信先を選ぶ	3-5
3.2.2	送信履歴から宛先を選ぶ	3-7
3.2.3	LDAP 検索で宛先を選ぶ	3-8
3.2.4	番号を直接入力する	3-10
3.3	読み込みの内容を設定する（読み込み設定）	3-13
3.3.1	片面 / 両面	3-13
3.3.2	原稿画質	3-14
3.3.3	解像度	3-16
3.3.4	濃度	3-18
3.3.5	ファイル形式	3-19
3.3.6	下地調整	3-21
3.3.7	読み込みサイズ	3-22
3.3.8	原稿設定	3-24
3.4	プログラムを使う	3-27
3.5	宛先を確認する	3-29

第 4 章 ログインとログアウト

4.1	ログイン画面が表示されたら	4-2
4.1.1	ユーザー名入力画面が表示されたら	4-2
4.1.2	部門名またはパスワード入力画面が表示されたら	4-5



第 1 章

ご使用いただく前に

本機を使用する前に知っておきたいことからについて説明します。

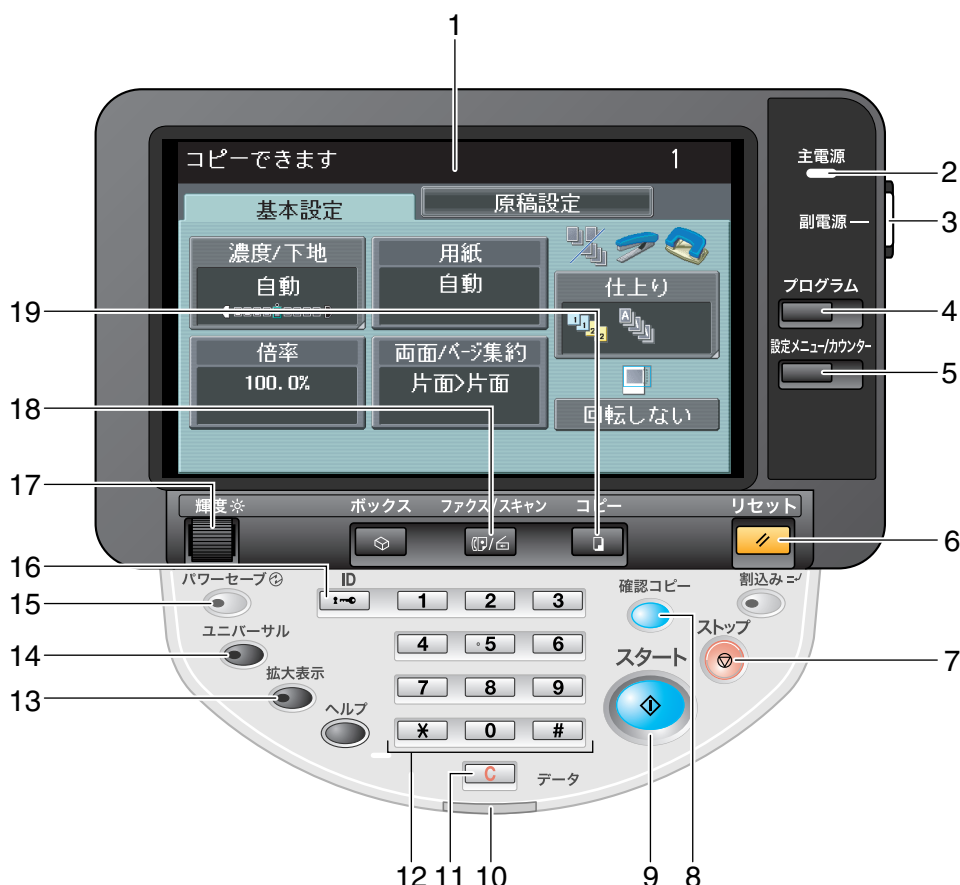
1.1	操作パネル部の名称とはたらき	1-2
1.2	操作パネルの角度をかえる	1-4
1.3	拡大表示画面について	1-6
1.4	タッチパネルについて	1-7
1.5	原稿をセットする	1-10
1.6	原稿の設定をする	1-13

1.1 操作パネル部の名称とはたらき



参照

操作パネル部の名称とはたらきについて、詳しくはユーザズガイド [コピー機能編]、[ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編] をご覧ください。



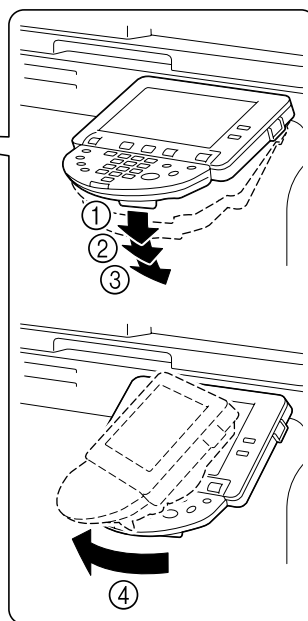
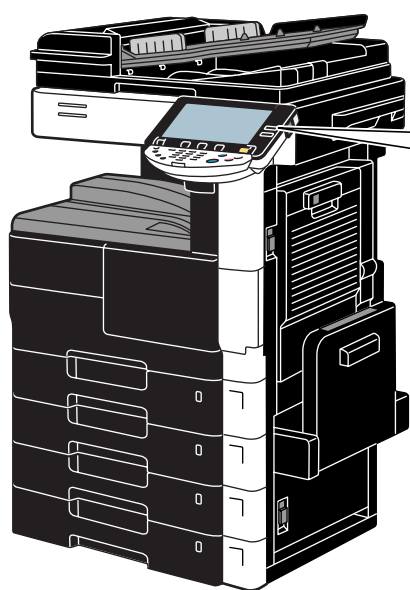
No	名称	機能
1	タッチパネル	各設定画面やメッセージが表示されます。タッチパネルに直接タッチして各設定を行います。
2	主電源ランプ	【主電源スイッチ】が ON の場合に緑色に点灯します。
3	【副電源スイッチ】	本機の動作を ON/OFF します。OFF の場合は節電状態となります。
4	【プログラム】キー	登録されたファクス / スキャン条件を呼出します。(p. 3-27)
5	【設定メニュー / カウンター】キー	設定メニュー画面、セールスカウンター画面に切り替わります。
6	【リセット】キー	操作パネル、またはタッチパネルで入力した全ての設定（登録した設定は除く）がリセットされます。
7	【ストップ】キー	処理中に【ストップ】を押すと、処理が一時停止します。
8	【確認コピー】キー	複数部数のコピーを行うとき、先に 1 部だけ印刷して仕上りを確認できます。(p. 2-32)
9	【スタート】キー	処理を開始します。本機が処理を開始できる状態の場合は【スタート】が青色に点灯します。【スタート】がオレンジ色に点灯しているときは処理を開始できません。一時停止中のジョブが再開します。

No	名称	機能
10	データランプ	印刷ジョブやファクスの受信中は、青色に点滅します。 印刷ジョブやファクスの印刷待ちおよび印刷中は、青色に点灯します。
11	【C】(クリア)キー	テンキーで入力した数値（コピー部数、倍率、サイズなど）がクリアされます。
12	テンキー	部数を設定します。 倍率を入力します。 各種の設定値を入力します。
13	【拡大表示】キー	拡大表示画面／標準サイズの画面に切替わります。
14	【ユニバーサル】キー	ユニバーサル機能の設定画面に切替わります。
15	【パワーセーブ】キー	パワーセーブ機能に切替わります。パワーセーブ機能中は【パワーセーブ】が緑色に点灯し、タッチパネルの表示が消えます。パワーセーブ機能中に【パワーセーブ】を押すとパワーセーブ機能は解除されます。
16	【ID】キー	ユーザー認証または部門管理を設定している場合、ユーザー名とパスワード（ユーザー認証）、部門名とパスワード（部門管理）を入力したあとにこのキーを押すと本機が使用できるようになります。
17	【輝度】調整ダイヤル	タッチパネルの輝度を調整します。
18	【ファクス / スキャン】キー	ファクス / スキャン機能に切替わります。ファクス / スキャン機能中は【ファクス / スキャン】が緑色に点灯します。
19	【コピー】キー	コピー機能に切替わります。（初期設定では、標準サイズのコピー機能が選択されています。）コピー機能中は【コピー】が緑色に点灯します。

1.2 操作パネルの角度をかえる

本機の操作パネルは、操作面の角度を 3 段階に設定できます。また、操作パネルを左に傾けることができます。

使いやすい角度を選んでご使用ください。

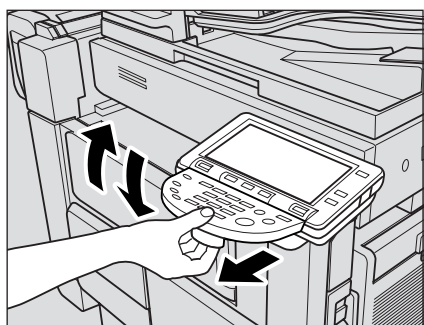


- ① 上段位置(ホーム位置)
- ② 中段位置
- ③ 下段位置
- ④ 左傾位置

1.2.1 操作パネルの角度のかえかた

1

操作パネル解除レバーを手前に引き、操作パネルを上下させます。

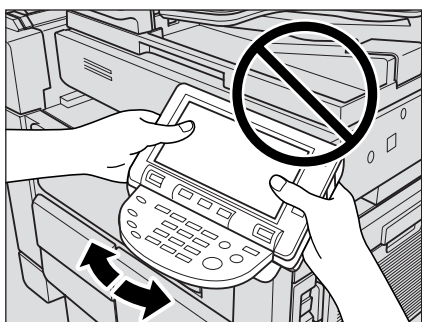


2

操作パネルを左に傾ける場合は、操作パネル下部を持って左に傾けます。



○ タッチパネルを直接持った状態で、操作パネルの左右位置を調節しないでください。



1.3 拡大表示画面について

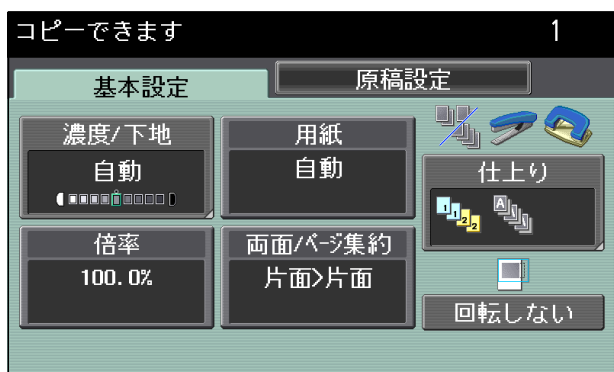
1.3.1 拡大表示機能の画面を表示するには

- 1 操作パネルの【コピー】または【ファクス / スキャン】を押し、目的の画面を表示させます。
- 2 操作パネルの【拡大表示】を押します。



- ユニバーサル設定の内容によって、拡大表示で設定できない機能解除の確認画面が表示されます。ユニバーサル設定について、詳しくはユーザーズガイド「コピー機能編」をごらんください。

タッチパネルの表示が拡大表示機能の画面に切替わります。



- 拡大表示機能中に【コピー】または【ファクス / スキャン】を押すと、画面を切替えることができます。
- 拡大表示機能中に操作パネルの【拡大表示】を押すと、標準サイズの画面にもどります。

🔍 詳しく説明します

- 拡大表示の初期設定を変更することができます。
初期設定を変更するには、拡大表示画面であらかじめ設定を行い、【ユニバーサル】を押します。ユニバーサル設定 2/2 画面で「拡大表示初期設定」を押し、[コピー] または [ファクス / スキャン] を押し、[現在の設定値] を設定します。

1.4 タッチパネルについて

1.4.1 タッチパネルの操作

タッチパネルに表示されたキーを指で軽くタッチして、表示されている機能を選択します。



必ず守ってください

- タッチパネルに強い力を加えると、タッチパネルに傷が付いて破損の原因となります。タッチパネルを強く押したり、先のとがったシャープペンシルなどで押さないでください。

1.4.2 画面内で表示されるアイコンについて

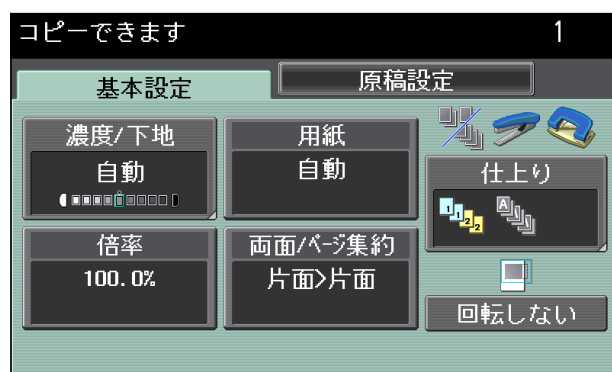
アイコン	説明
	印刷エラーに関するメッセージがあるときに表示されます。キーを押してメッセージを確認し、エラーの処理を行ってください。
	キーを押すと、表示されているメッセージが拡大表示されます。
	消耗品の交換や装置の点検に関するメッセージがあるときに表示されます。キーを押してメッセージを確認し、交換や点検を行ってください。

1.4.3 用紙種類の表示

参照

用紙種類の表示について、詳しくはユーザズガイド〔コピー機能編〕をごらんください。

コピー機能使用時に、選択したトレイに普通紙以外の用紙が設定されている場合は、基本設定画面の〔用紙〕に用紙種類を表すアイコンが表示されます。

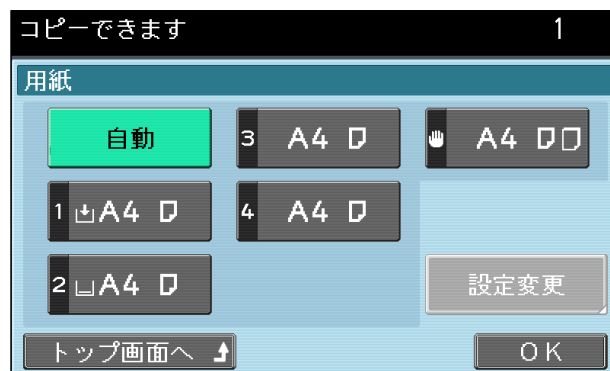


表示されるアイコンと用紙種類

厚紙	再生紙	レター ヘッド紙	第2原紙	OHP フィルム
				
封筒	薄紙	色紙	ユーザー紙	ラベル紙
				

1.4.4 用紙残量の表示

コピー機能使用時の用紙サイズを選択する画面に、用紙の残量が表示されます。用紙サイズを選択する画面の表示方法については、「[用紙を選ぶ](#)」(p. 2-4) をごらんください。



表示されるアイコンと用紙残量

アイコン	説明
	給紙口にセットされている用紙が残り少ないことを示します。
	給紙口に用紙がセットされていないことを示します。

1.5 原稿をセットする

参照

原稿のセットについて、詳しくはユーザーズガイド [コピー機能編]、[ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編] をご覧ください。

原稿のセット方法には以下の種類があります。原稿の種類に合わせて最適な原稿セットを行ってください。

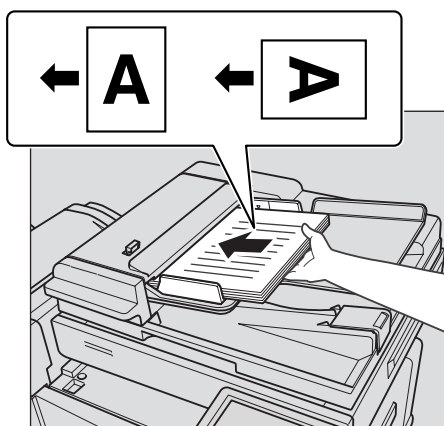
- ADF にセットする
- 原稿ガラス上にセットする

1.5.1 ADF に原稿をセットする

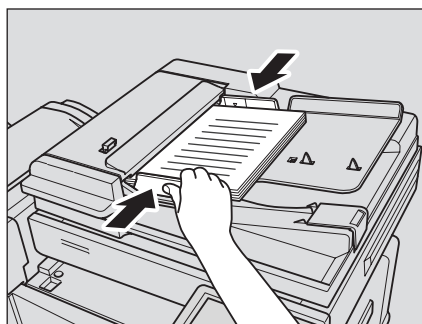
1

原稿のオモテ面を上にして、原稿を読込み順に原稿給紙トレイにセットします。

○ 原稿の天部（上側）が奥側、または右側になるようにします。



- 2 ガイド板を原稿に沿わせます。



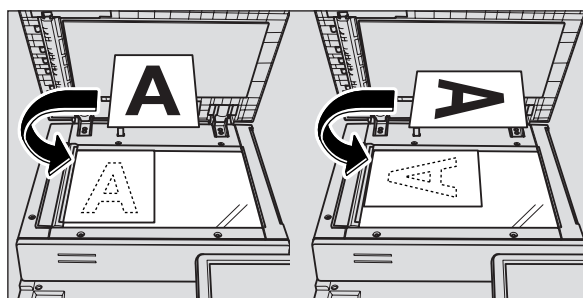
1.5.2 原稿ガラス上に原稿をセットする

🔍 詳しく説明します

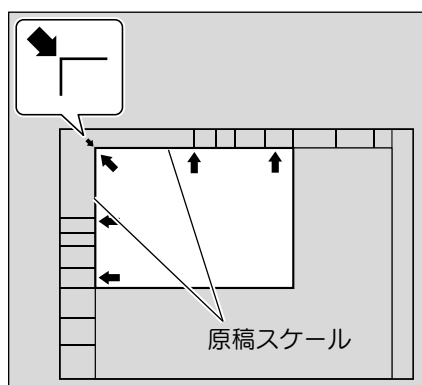
- 原稿をセットするときは、必ず ADF を 20° 以上開いてください。
20° 以上開けずに原稿をセットすると原稿のサイズの読取りができません。

- 1 ADF を開きます。

- 2 原稿のオモテ面を下にして、原稿を原稿ガラス上にセットします。
○ 原稿の天部（上側）が奥側、または左側になるようにします。



- 3 原稿スケール左奥側の ◀ マークに合わせて原稿をセットします。



- 4 ADF を閉じます。

1.6 原稿の設定をする

参照

原稿の設定について、詳しくはユーザーズガイド〔コピー機能編〕をごらんください。

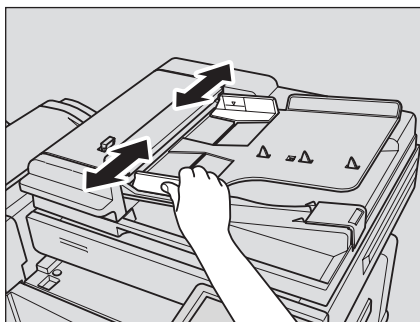
目的のコピーをとるために、原稿の状態やセットに応じて必要な設定について説明します。

ファクス / スキャン機能使用時の原稿の設定については、「[原稿設定](#)」(p. 3-24)をごらんください。

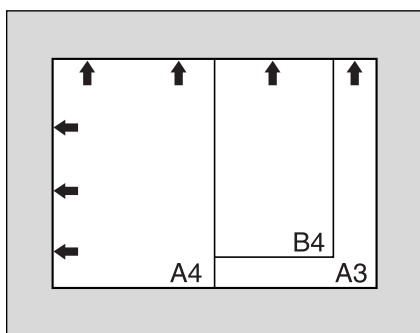
1.6.1 サイズの異なる原稿をセットする（混載原稿）

サイズの異なる原稿を ADF へ 1 度にセットし、自動的に 1 枚ずつ送り出し、読み込みます。

- 1 ADF のガイド板を最も大きな原稿のサイズに合わせます。



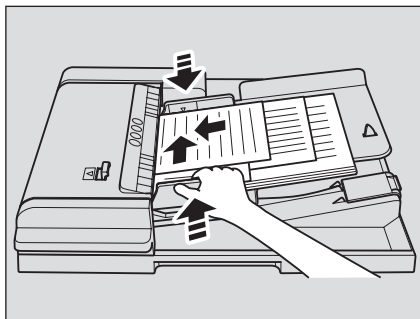
- 2 コピーしたい面を上向きにし、図のように揃えます。



3

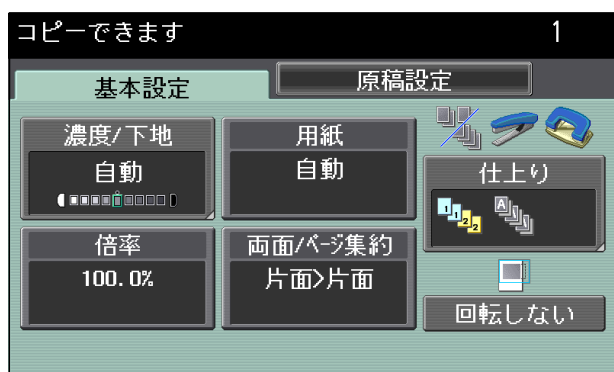
原稿のオモテ面を上にして、原稿を読込み順に原稿給紙トレイにセットします。

- ガイド板を原稿に沿わせます。
- 原稿は、ADF に対して左側を基準にしてセットします。



4

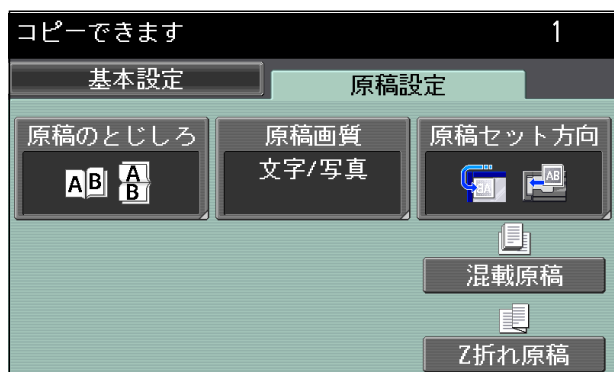
基本設定画面の「原稿設定」タブを押します。



原稿設定画面が表示されます。

5

「混載原稿」を押します。



- 混載原稿機能を解除するときは、再度「混載原稿」を押します。

1.6.2 折りぐせのついた原稿をセットする（Z 折れ原稿）

折りぐせのある原稿を ADF にセットしてコピーするとき、原稿サイズを正確に検知できます。

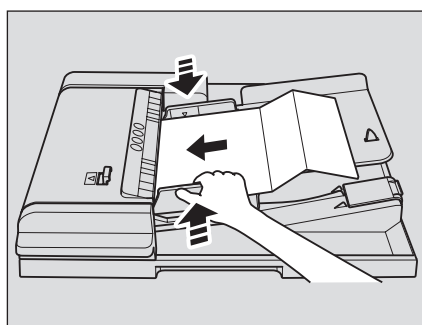
 詳しく説明します。

- 原稿は ADF にセットします。
- 1 枚目の原稿サイズ長を検知し、それより後は同じサイズとして読み込みます。

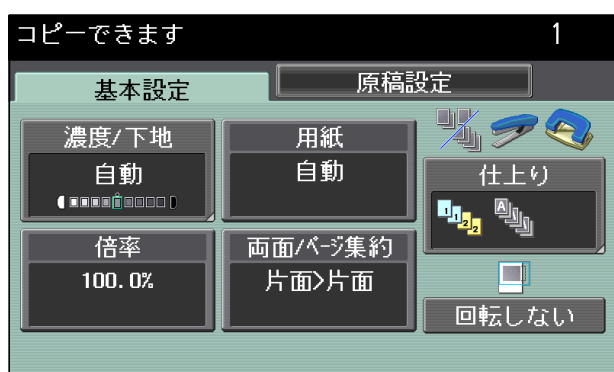
 必ず守ってください

- 折りぐせのついた原稿は、ADF にセットする前に伸ばしてください。伸ばさずにコピーすると、紙づまりの原因になります。

1 原稿をセットします。

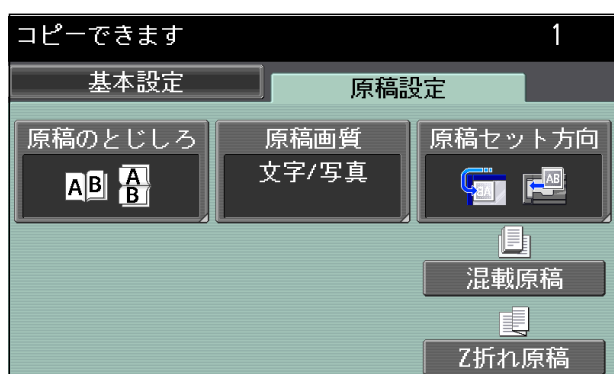


2 基本設定画面の「原稿設定」タブを押します。



原稿設定画面が表示されます。

3 [Z 折れ原稿] を押します。



○ Z 折れ原稿機能を解除するときは、再度 [Z 折れ原稿] を押します。

1.6.3 原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）

両面原稿からのコピー、両面コピーや集約コピーなどをする場合は、原稿のセット方向を設定してください。原稿のセット方向を設定しないと、ページ順やオモテ面とウラ面の配置が正しくコピーできないことがあります。

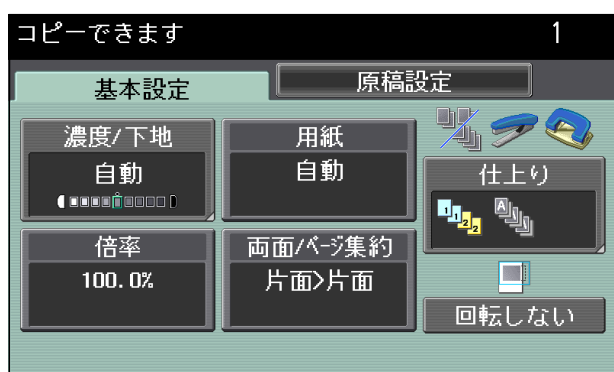
項目	説明
	原稿の天部（上側）を奥側にしてセットした場合に選択します。
	原稿の天部（上側）を手前側にしてセットした場合に選択します。
	ADF に原稿の天部（上側）を左側にしてセットした場合に選択します。 原稿ガラス上に原稿の天部（上側）を右側にセットした場合に選択します。
	ADF に原稿の天部（上側）を右側にセットした場合に選択します。 原稿ガラス上に原稿の天部（上側）を左側にセットした場合に選択します。

1 原稿をセットします。

○ 原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 1-10) をご覧ください。

2

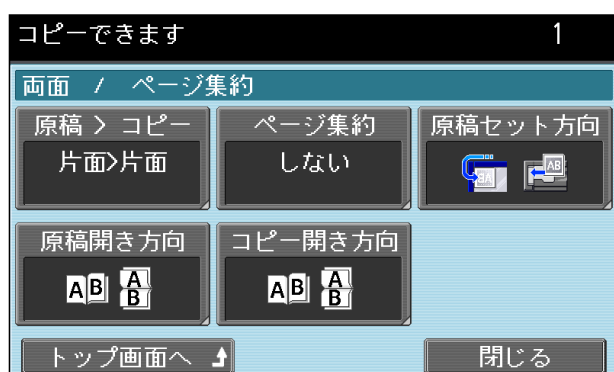
基本設定画面の「両面 / ページ集約」を押します。または「原稿設定」タブを押します。



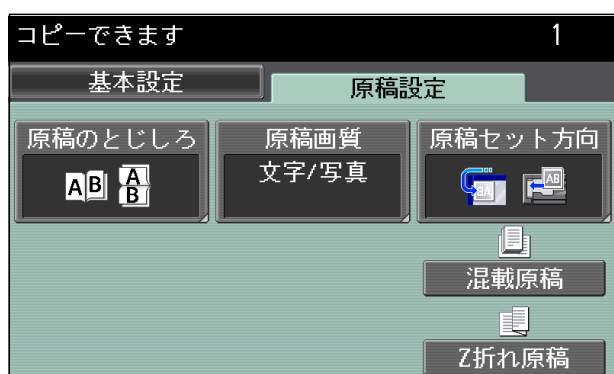
3

「原稿セット方向」を押します。

両面 / ページ集約画面の場合



原稿設定画面の場合



原稿セット方向画面が表示されます。

- 4 セットした原稿の方向に合わせて、目的のキーを押し、[OK] を押します。



- [トップ画面へ] を押すと変更された設定で基本設定画面にもどります。

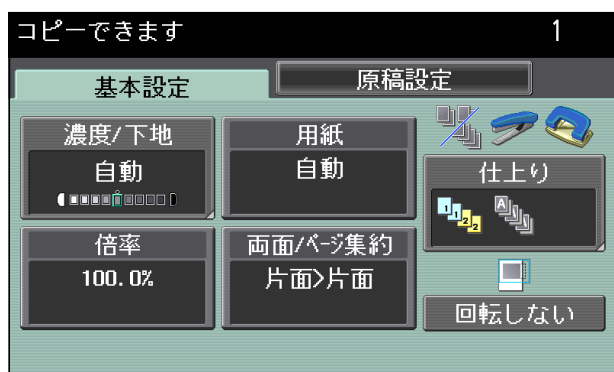
1.6.4 とじしろを設定する（原稿のとじしろ）

ADF に両面原稿をセットする場合に、原稿のとじしろ位置を設定することで、原稿ウラ面の天部（上側）を指定します。

項目	説明
左開き 左開き / とじ	原稿の左側にとじしろのある原稿をセットした場合に選択します。
上開き 上開き / とじ	原稿の上側にとじしろのある原稿をセットした場合に選択します。
右開き 右開き / とじ	原稿の右側にとじしろのある原稿をセットした場合に選択します。
自動	上側または左側のとじしろ位置が設定されます。 原稿のとじしろが自動で選択されます。 原稿の長辺が 297 mm 以下の場合は、原稿の長辺にとじしろが設定されます。 原稿の長辺が 297 mm を超える場合は、原稿の短辺にとじしろが設定されます。

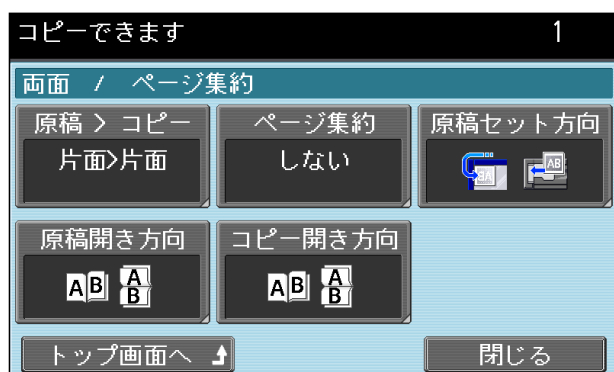
- 1 原稿をセットします。
- 原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 1-10) をごらんください。

- 2 基本設定画面の「両面 / ページ集約」を押します。または「原稿設定」タブを押します。

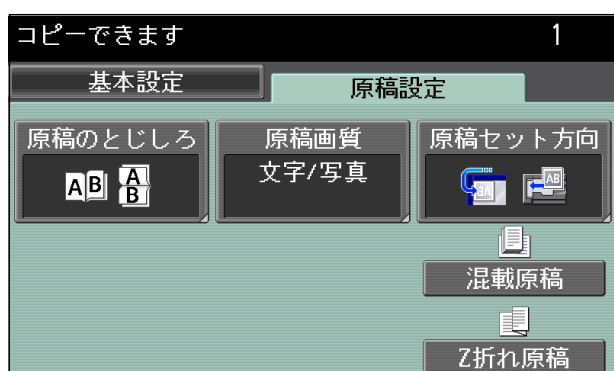


- 3 両面 / ページ集約画面の「原稿開き方向」を押します。または原稿設定画面の「原稿のとりしろ」を押します。

両面 / ページ集約画面の場合



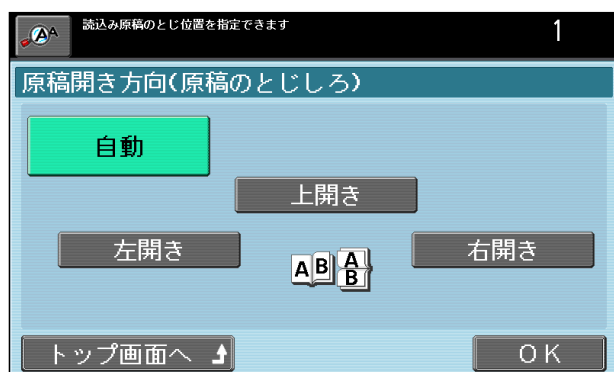
原稿設定画面の場合



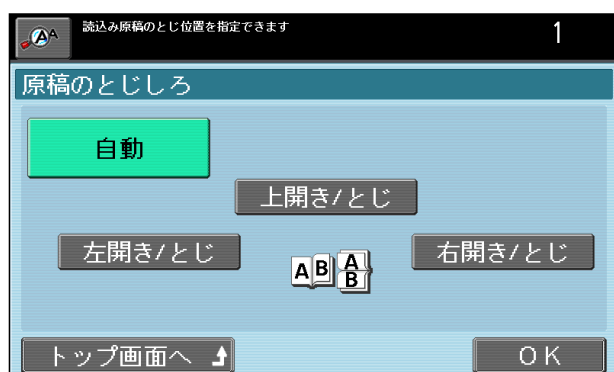
4

原稿のとじしろを設定し、[OK] を押します。

原稿開き方向（原稿のとじしろ）画面の場合



原稿のとじしろ画面の場合



○ [トップ画面へ] を押すと変更された設定で基本設定画面にもどります。



第 2 章

コピー機能の使い方

基本的なコピーのとりかたについて説明します。

2.1	コピー操作の流れ	2-2
2.2	用紙を選ぶ	2-4
2.3	倍率を選ぶ	2-7
2.4	原稿＞コピー機能を選ぶ	2-9
2.5	ページ集約を選ぶ	2-12
2.6	仕上り機能を選ぶ	2-14
2.7	回転しないを選ぶ	2-19
2.8	原稿の画質を選ぶ	2-20
2.9	濃度を選ぶ	2-22
2.10	用紙設定	2-25
2.11	印刷中に次のコピー原稿を読み込む（コピー予約）	2-30
2.12	読み込み・印刷を一時停止する	2-31
2.13	コピーの仕上りを確認する（確認コピー）	2-32

2.1 コピー操作の流れ



参照

コピー操作について、詳しくはユーザズガイド〔コピー機能編〕をごらんください。

コピーをとるときの操作の流れを説明します。

1

操作パネルの【コピー】を押し、【拡大表示】を押します。

コピー機能の拡大表示画面が表示されます。

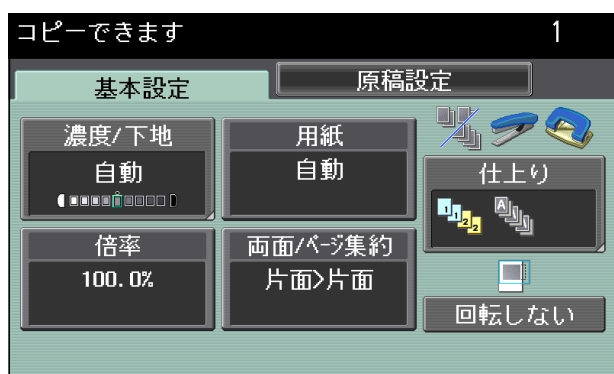
2

原稿をセットします。

○ 原稿のセット方法については、(p. 1-10)をごらんください。

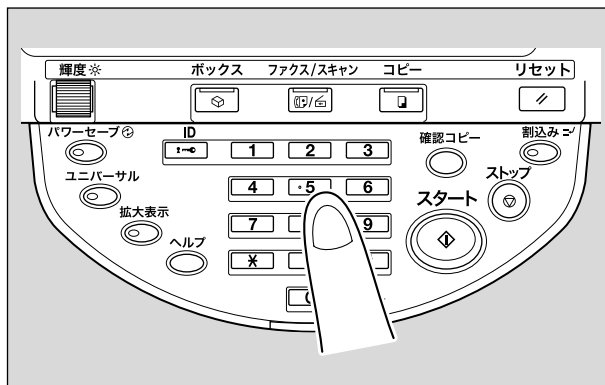
3

必要に応じて、各機能の設定をします。



- 原稿の設定については、(p. 1-13)をごらんください。
- 用紙サイズの設定については、(p. 2-4)をごらんください。
- 倍率の設定については、(p. 2-7)をごらんください。
- 原稿とコピー機能の設定については、(p. 2-9)をごらんください。
- 集約コピーの設定については、(p. 2-12)をごらんください。
- コピーの仕上りについては、(p. 2-14)をごらんください。
- 画像を回転しない設定については、(p. 2-19)をごらんください。
- 原稿の画質については、(p. 2-20)をごらんください。
- コピー濃度の設定については、(p. 2-22)をごらんください。
- 【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定にもどります。

4 テンキーでコピー部数を入力します。



○ コピー部数を間違えて入力した場合は、【C】を押して再度入力しなおしてください。

5 【スタート】を押します。



2.2 用紙を選ぶ

用紙サイズの選択には、原稿のサイズに合わせて自動で用紙を選択する方法と、手動で用紙を指定する方法があります。目的のコピー条件に応じ、いずれかの手順にしたがって設定します。

2.2.1 自動的に用紙を選択する（自動用紙）

セットされた原稿サイズを検知し、同じサイズの用紙を選択してコピーします。

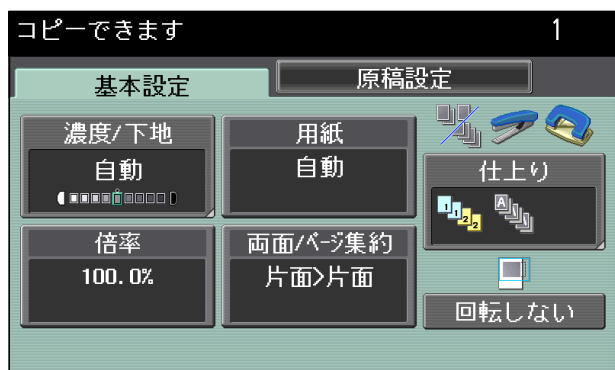
倍率が等倍に設定されている場合は、原稿サイズと同じサイズの用紙を選択してコピーします。

倍率が、拡大または縮小に設定されている場合は、設定されている倍率に対応したサイズの用紙を自動的に選択してコピーします。

🔍 詳しく説明します

- 自動倍率と自動用紙は、同時に設定できません。
自動倍率設定時に自動用紙を選択した場合は、倍率設定画面が表示されますので、目的の倍率を設定してください。

1 基本設定画面の「用紙」を押します。



用紙画面が表示されます。

2 [自動] を押します。



○ [トップ画面へ] を押すと変更された設定で基本設定画面にもどります。

3 [OK] を押します。

基本設定画面にもどります。

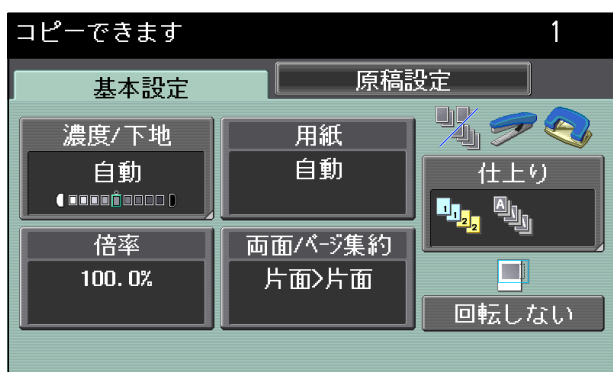
2.2.2 手動で目的の用紙を指定する

目的のサイズ of 用紙がセットされている給紙トレイを手動で選択します。自動倍率と合わせて設定することで、原稿サイズと用紙サイズに合った最適なコピー倍率が設定されます。

🔍 詳しく説明します

- あらかじめ、目的のサイズの用紙を給紙トレイにセットしておきます。
用紙のセットについて、詳しくはユーザーズガイド [コピー機能編] をごらんください。

1 基本設定画面の [用紙] を押します。



用紙画面が表示されます。

- 2 目的のサイズ of 用紙がセツトされた給紙トレイを選択します。



○ [トップ画面へ] を押すと変更された設定で基本設定画面にもどります。

- 3 [OK] を押します。
基本設定画面にもどります。

2.3 倍率を選ぶ

原稿と異なるサイズの手紙にコピーするときや、画像のサイズを変えてコピーするときには倍率を設定できます。

倍率の設定方法には以下の種類があります。

項目	説明
自動 ^{*1}	原稿サイズと選択した手紙サイズに合わせて、自動的に最適なコピー倍率を選択します。
等倍	原稿の画像を原寸（等倍）でコピーします。
拡大	よく使用する定形サイズの原稿から定形サイズの手紙にコピーする場合の最適な拡大倍率が、あらかじめ設定されています。
縮小 ^{*2}	よく使用する定形サイズの原稿から定形サイズの手紙にコピーする場合の最適な縮小倍率が、あらかじめ設定されています。
ズーム	テンキーを使用して、縦と横の比率を変えずに 25.0 ～ 400.0 % の間でコピー倍率を直接入力できます。
登録倍率 ^{*2*3}	登録されているコピー倍率を呼出し設定します。

^{*1} 自動倍率と自動手紙は、同時に設定できません。

自動手紙設定時に自動倍率を選択した場合は、手紙選択画面が表示されますので、目的の手紙を選択してください。

^{*2} 縮小、登録倍率では、[小さめ]を選択することができます。[小さめ]は、原稿の画像をわずかに縮小（93.0 %）し、センタリングしてコピーします。

小さめコピーの倍率は、目的の倍率（90.0 ～ 99.9 %）に変更し、登録できます。詳しくは、ユーザーズガイド [コピー機能編] をごらんください。

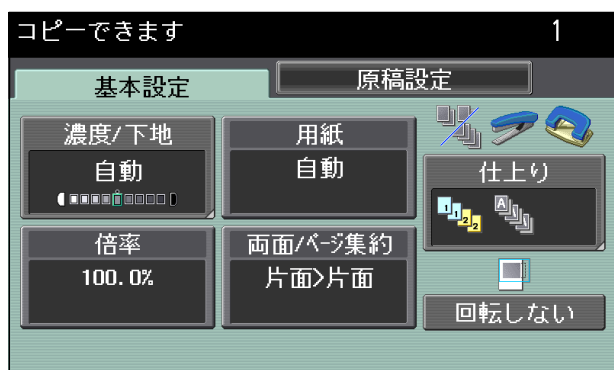
^{*3} 登録倍率には、目的の倍率を登録することができます。詳しくは、ユーザーズガイド [コピー機能編] をごらんください。

ここでは、倍率の設定のしかたについて説明します。

2.3.1 倍率の選択のしかた

1

基本設定画面の [倍率] を押します。



倍率画面が表示されます。

2 目的の倍率を選択します。



○ [トップ画面へ] を押すと変更された設定で基本設定画面にもどります。

🔍 詳しく説明します

- 拡大、縮小、登録倍率のいずれかを選択した場合は、目的の倍率を選択し、[OK] を押します。
- ズームを選択した場合は、テンキーで目的の倍率を入力し、[OK] を押します。
- [+] を押すと拡大側へ、[-] を押すと縮小側へ 0.1 % 単位で倍率を設定できます。

3 [OK] を押します。 基本設定画面にもどります。

2.4 原稿>コピー機能を選ぶ

原稿>コピー機能の設定をします。

原稿>コピー機能には以下の設定があります。

項目	説明
片面>片面	片面原稿を用紙の片面にコピーします。
片面>両面 ^{*1}	2 枚の片面原稿を 1 枚の用紙の両面にコピーします。
両面>片面 ^{*2}	両面原稿を 2 枚の用紙の片面にコピーします。
両面>両面 ^{*1*2}	両面原稿を用紙の両面にコピーします。

*1 [片面>両面] または [両面>両面] を選択した場合は、コピー開き方向および原稿セット方向を設定してください。コピー開き方向および原稿セット方向を設定していない場合は、目的のコピーにならないことがあります。原稿セット方向については、「[原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）](#)」(p. 1-16) をごらんください。

*2 [両面>片面] または [両面>両面] を選択した場合は、原稿開き方向および原稿セット方向を設定してください。原稿開き方向および原稿セット方向を設定していない場合は、目的のコピーにならないことがあります。原稿セット方向については、「[原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）](#)」(p. 1-16) をごらんください。原稿開き方向については、「[とじしろを設定する（原稿のとじしろ）](#)」(p. 1-18) をごらんください。

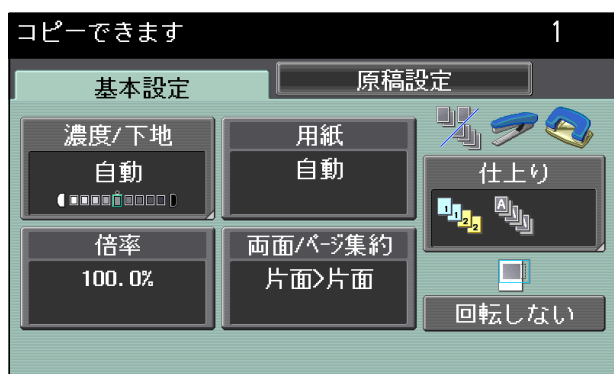
🔍 詳しく説明します

- 原稿ガラス上に原稿をセットして、[片面>両面]、[両面>片面]、[両面>両面] のいずれかの設定をした場合は、読込んだ原稿を蓄積して、1 度に排紙します。

ここでは、原稿>コピー機能の設定のしかたについて説明します。

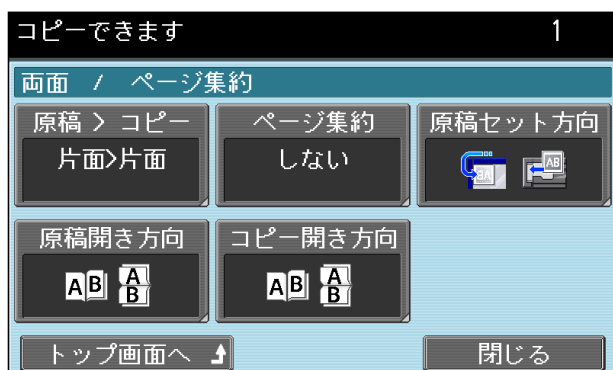
2.4.1 片面コピーまたは両面コピーを選択する

- 1 基本設定画面の「両面 / ページ集約」を押します。



両面 / ページ集約画面が表示されます。

- 2 [原稿>コピー] を押します。

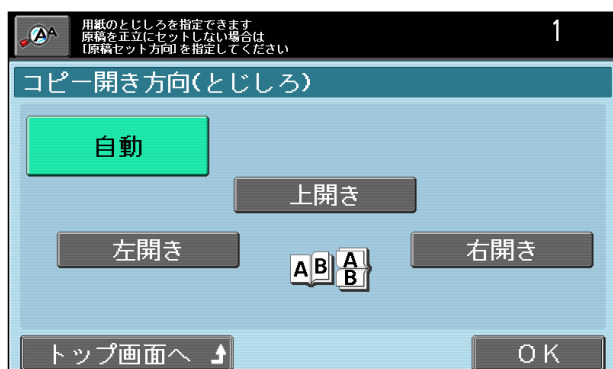


- [トップ画面へ] を押すと変更された設定で基本設定画面にもどります。
両面設定画面が表示されます。

- 3 目的の設定を選択し、[OK] を押します。



- [片面>両面] または [両面>両面] を選択した場合は、[コピー開き方向] を押してとじしろ位置を設定し、[OK] を押します。





詳しく説明します

- [自動] を設定した場合は、上側または左側のとじしろ位置が設定されます。原稿の方向から用紙へのとじしろ位置を自動的に判断し、原稿の長辺が 297 mm 以下の場合は、用紙の長辺にとじしろ位置を設定し、原稿の長辺が 297 mm を超える場合は、用紙の短辺にとじしろ位置を設定します。

4

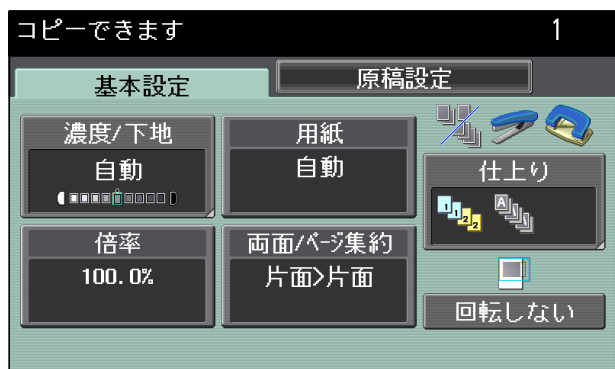
[閉じる] を押します。

基本設定画面にもどります。

2.5 ページ集約を選ぶ

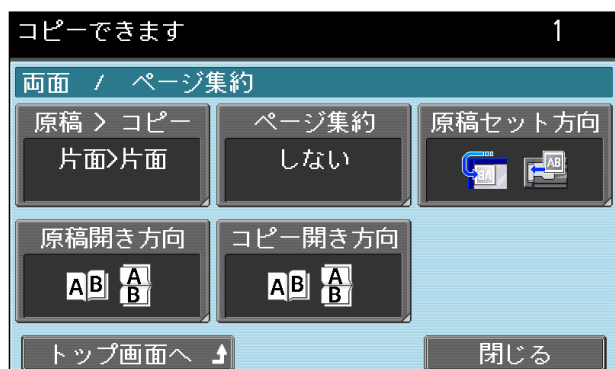
2 枚の原稿画像を、1 枚の用紙に集約してコピーします。用紙の使用枚数を節約できます。

- 1 基本設定画面の「両面 / ページ集約」を押します。



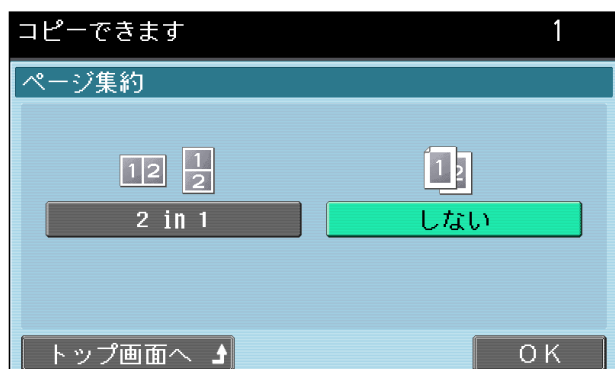
両面 / ページ集約画面が表示されます。

- 2 「ページ集約」を押します。



○ 「トップ画面へ」を押すと変更された設定で基本設定画面にもどります。
ページ集約画面が表示されます。

- 3 「2in1」を選択し、「OK」を押します。



4

「閉じる」を押します。
基本設定画面にもどります。

2.6 仕上り機能を選ぶ

コピーを排紙トレイに排紙するときの仕分け方法や仕上り方法を設定できます。

仕上り機能には以下の種類があります。

項目	説明
ソート（1部ごと）	複数枚の原稿を部数単位に分けて出力します。
グループ（ページごと）	複数枚の原稿をページ単位に分けて出力します。
仕分け ^{*1}	フィニッシャーが装着されていない場合は、仕分け機能の条件を満たすと、コピーの完了した用紙を交互に仕分けして排紙します。 フィニッシャーが装着されている場合は、コピーの完了した用紙をシフトして（ずらして）排紙します。
ステープル ^{*2*3}	コピーの完了した用紙をステープル（針）でとじます。[コーナー]と[2点]を指定できます。
パンチ ^{*4}	コピーの完了した用紙にファイリング用のパンチ穴（2穴）をあけます。
中とじ ^{*5}	用紙のセンター2ヶ所にステープルして、排紙します。
中折り ^{*5}	用紙を2つ折りにして、排紙します。

*1 フィニッシャーが装着されていない場合は、以下の条件を全て満たすと、コピーの完了した用紙を  /  交互に仕分けして排紙します。

- A4 または B5 の用紙を使用する
- サイズと種類の同じ用紙を  方向と  方向にセットする
- 用紙／サイズ機能で自動用紙を設定する
- 混載原稿機能で自動用紙を設定しない

*2 ステープルを設定した場合は、自動的に [ソート（1部ごと）] が設定されます。ステープルと仕分けは同時に設定できません。

*3 ステープル機能はオプションのフィニッシャー FS-522/FS-523 が装着されている場合に使用できる機能です。

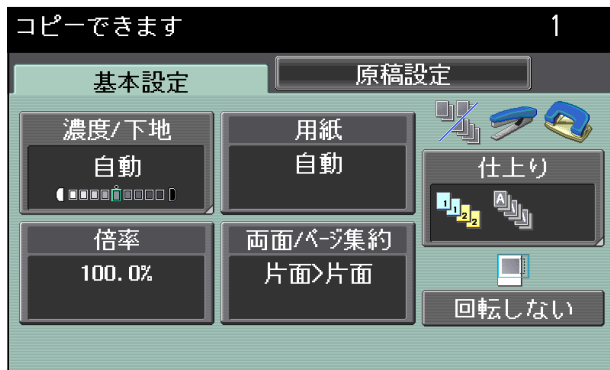
*4 パンチ機能は、オプションのフィニッシャー FS-522 にパンチユニットが装着されている場合、またはオプションのフィニッシャー FS-523 が装着されている場合に使用できる機能です。

*5 中とじおよび中折り機能は、オプションのフィニッシャー FS-522 に中綴じ機が装着されている場合に使用できる機能です。

ここでは、仕上り機能の設定のしかたについて説明します。

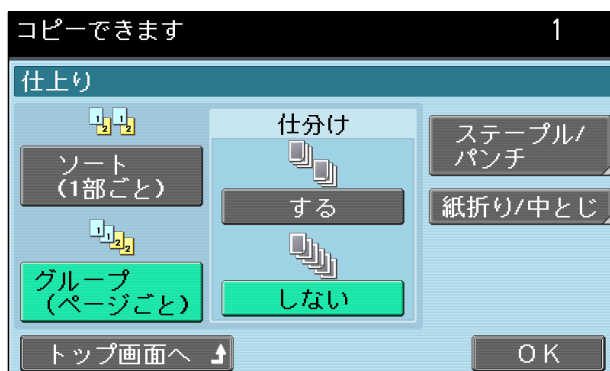
2.6.1 排紙方法を選択する

- 1 基本設定画面の「仕上り」を押します。



仕上り画面が表示されます。

- 2 目的の排紙方法を選択します。

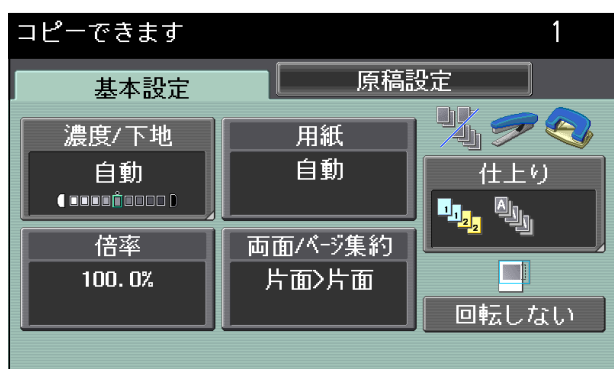


○「トップ画面へ」を押すと変更された設定で基本設定画面にもどります。

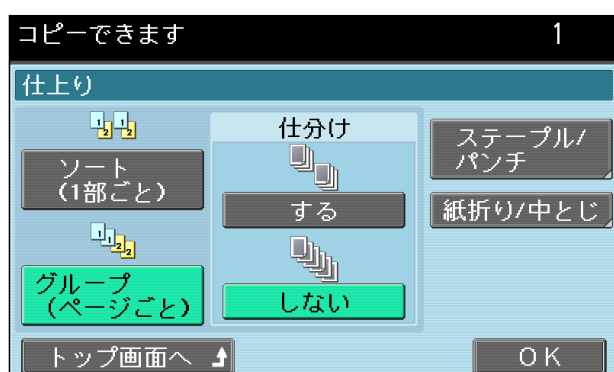
- 3 「OK」を押します。
基本設定画面にもどります。

2.6.2 ステープル/パンチを設定する

- 1 基本設定画面の「仕上り」を押します。



- 2 「ステープル / パンチ」を押します。

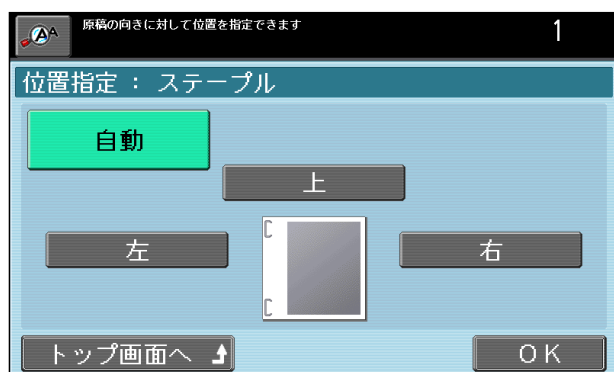


○「トップ画面へ」を押すと変更された設定で基本設定画面にもどります。
ステープル / パンチ画面が表示されます。

- 3 目的の機能を選択し、「位置指定」を押します。



- 4 目的の位置を選択します。
2点ステープルの場合



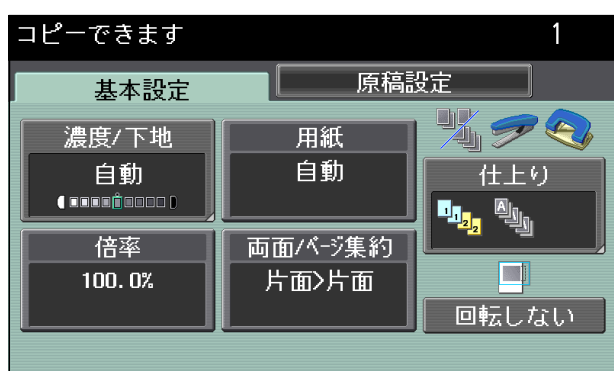
🔍 詳しく説明します

- [自動] を押すと、セットした原稿の方向から用紙へのステープル位置またはパンチ位置を自動的に判断します。原稿の長辺が 297 mm 以下の場合には用紙の長辺に、原稿の長辺が 297 mm を超える場合は用紙の短辺に、ステープル位置またはパンチ位置を設定します。

- 5 [OK] を 3 回押します。または [トップ画面へ] を押します。
基本設定画面にもどります。

2.6.3 用紙の折りやとじを設定する

- 1 基本設定画面の [仕上り] を押します。



- 2 [紙折り / 中とじ] を押します。



○ [トップ画面へ] を押すと変更された設定で基本設定画面にもどります。
紙折り / 中とじ画面が表示されます。

- 3 目的の機能を選択します。



○ [しない] を選択すると設定が解除されます。

- 4 [OK] を 2 回押します。または [トップ画面へ] を押します。
基本設定画面にもどります。

2.7 回転しないを選ぶ

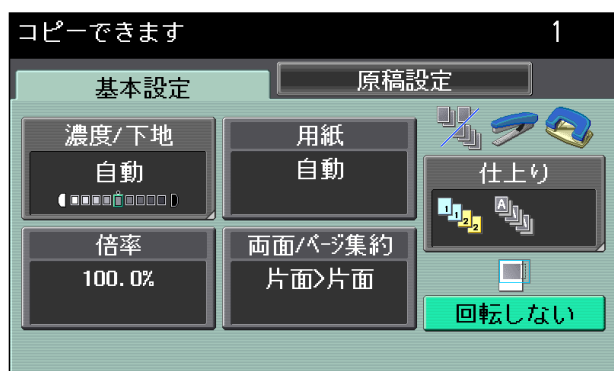
セットされた用紙の向きに合わせて画像を回転させないようにコピーします。

ここでは、回転させない設定のしかたについて説明します。

🔍 詳しく説明します

- 用紙サイズ、倍率によっては、画像が欠ける場合があります。

➡ 「回転しない」を押します。



- 回転しない機能を解除するときは、再度「回転しない」を押します。

2.8 原稿の画質を選ぶ

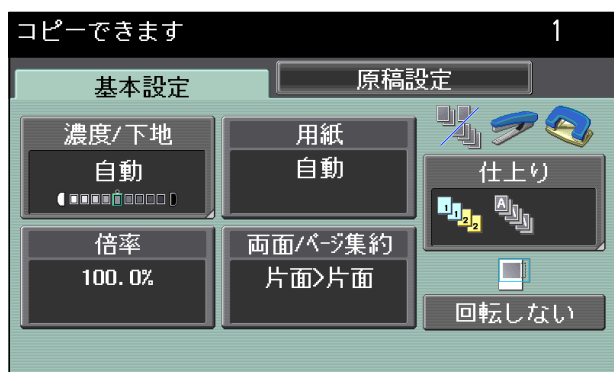
原稿の画質の設定をします。原稿の画像タイプに合わせて機能を選択し、よりよいコピー画質に調整します。

原稿画質には以下の種類があります。

項目	説明
文字	文字だけで構成された原稿からコピーするのに適した機能です。
文字 / 写真	文字と写真が混在する原稿から、コピーするのに適した機能です。
写真	写真（ハーフトーン）だけの原稿から、コピーするのに適した機能です。
薄文字原稿	文字だけで構成された原稿で、原稿の濃度が薄い文字（鉛筆原稿など）からコピーするのに適した機能です。

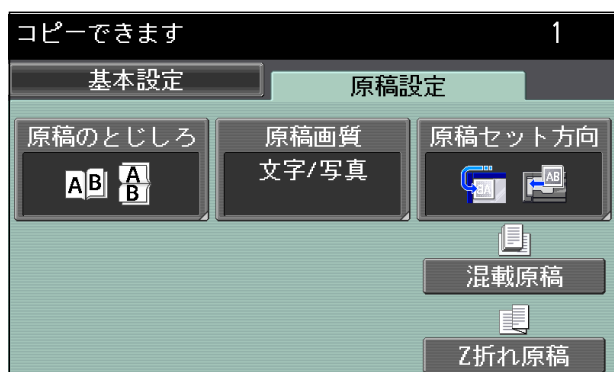
ここでは、原稿画質の設定のしかたについて説明します。

- 1 原稿をセットします。
○ 原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 1-10) をごらんください。
- 2 「[原稿設定]」タブを押します。



原稿設定画面が表示されます。

- 3 [原稿画質] を押します。



原稿画質画面が表示されます。

- 4 セットした原稿に合った画質を選択します。



○ [トップ画面へ] を押すと変更された設定で基本設定画面にもどります。

- 5 [OK] を押します。
原稿設定画面にもどります。

2.9 濃度を選ぶ

コピー濃度や下地濃度の設定をします。原稿の状態に合わせて、よりよい濃度に調整します。

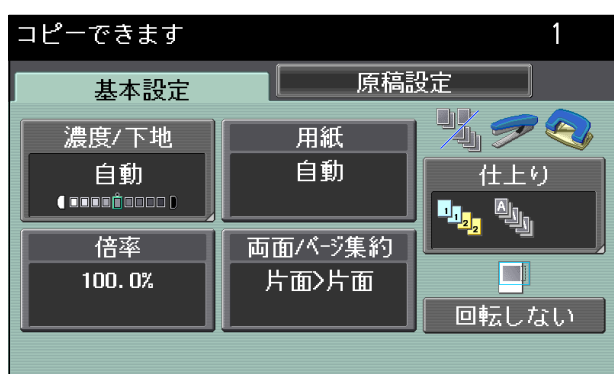
濃度調整には以下の種類があります。

項目	説明
濃度	印刷画像濃度を 9 段階で調整できます。
下地調整	下地色付原稿の下地色の濃度を 9 段階で調整できます。

ここでは、濃度の設定のしかたについて説明します。

2.9.1 印刷濃度を調整する（濃度）

- 1 基本設定画面の「濃度 / 下地」を押します。



濃度 / 下地画面が表示されます。

- 2 「濃度」を押します。



濃度画面が表示されます。

3 目的の濃度に調整します。

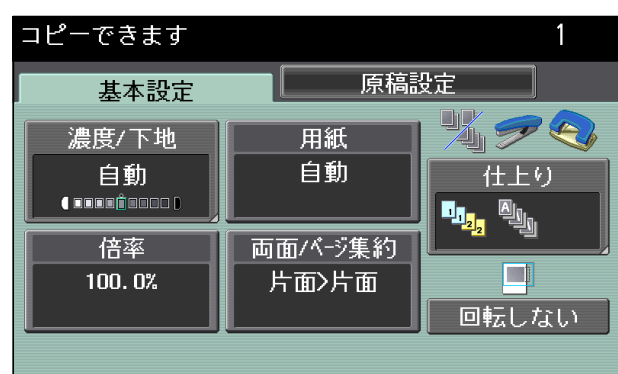


- [うすく]、[こく] を押すごとに、1 段階ずつ濃度が増減します。
- [ふつう] を押すと、中央（標準値）にもどります。
- [トップ画面へ] を押すと変更された設定で基本設定画面にもどります。
- [自動] を押すと、原稿の濃度を自動的に判断し、最適な濃度を選択します。

4 [OK] を 2 回押します。 基本設定画面にもどります。

2.9.2 下地濃度を調整する（下地調整）

1 基本設定画面の「濃度 / 下地」を押します。



濃度 / 下地が表示されます。

2 [下地調整] を押します。



下地調整画面が表示されます。

3 目的の下地濃度に調整します。



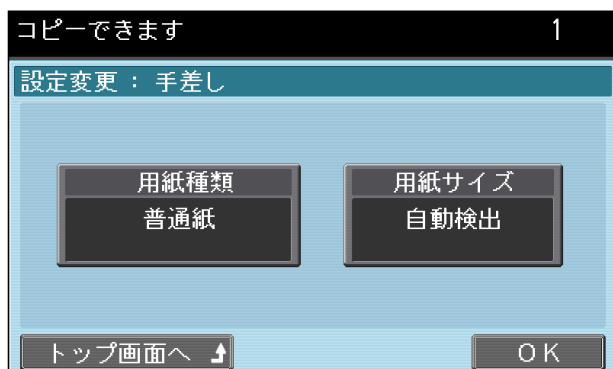
- [うすく]、[こく] を押すごとに、1 段階ずつ濃度が増減します。
- [ふつう] を押すと、中央（標準値）にもどります。
- [トップ画面へ] を押すと変更された設定で基本設定画面にもどります。

4 [OK] を 2 回押します。 基本設定画面にもどります。

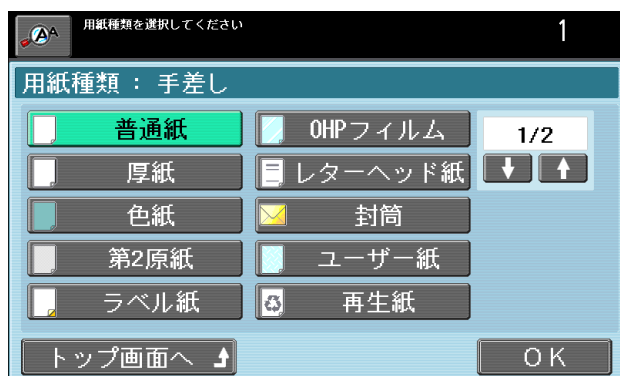
🔍 詳しく説明します

- 専用紙として設定した給紙トレイは、自動用紙機能による選択の対象になりません。ただし、片面専用用紙については、片面印刷時には優先的に選択の対象となります。

3 [用紙種類] を押します。



4 専用紙の種類を設定します。 目的の用紙種類のキーを押します。



○ 薄紙を設定するときは、[↓] または [↑] を押します。

5 [OK] を 3 回押します。または [トップ画面へ] を押します。 基本設定画面にもどります。

2.10.2 手差しトレイの用紙サイズを指定する

手差しトレイの用紙サイズを指定し、指定した用紙サイズ専用のトレイとして使用できます。

参照

用紙のセットについて、詳しくはユーザーズガイド〔コピー機能編〕をごらんください。

手差しトレイの用紙サイズ選択には以下の種類があります。

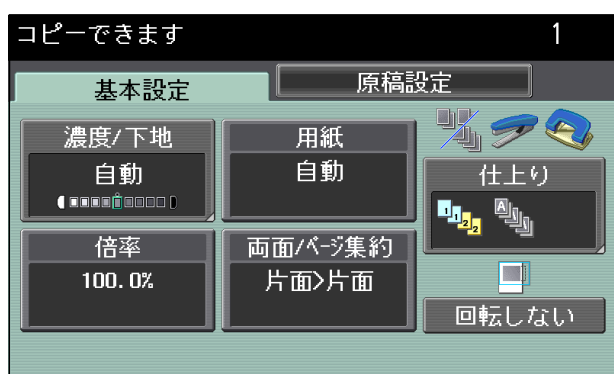
項目	説明
自動検出	用紙サイズを自動的に検出します。
不定形サイズ ^{*1}	不定形紙に用紙サイズを指定し、指定した用紙サイズ専用のトレイとして使用します。

^{*1} 拡大表示画面で不定形サイズ紙を設定するには、あらかじめ標準サイズの設定画面で、不定形紙を登録しておく必要があります。詳しくは、ユーザーズガイド〔コピー機能編〕をごらんください。

詳しく説明します

- 手差しトレイ以外の給紙トレイに用紙サイズを指定することはできません。

1 基本設定画面の〔用紙〕を押します。



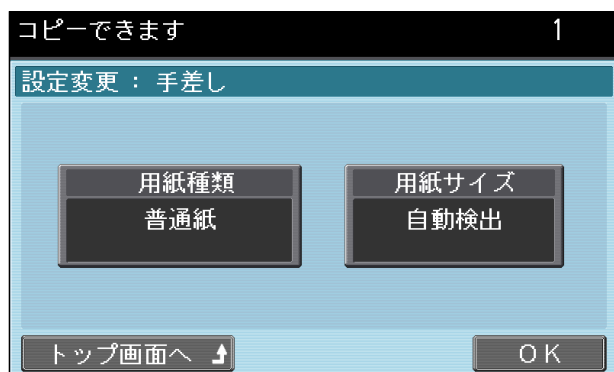
用紙画面が表示されます。

- 2 手差しトレイのキーを押し、[設定変更] を押します。



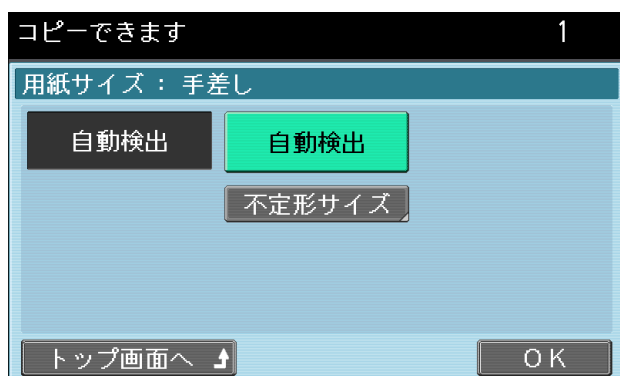
○ [トップ画面へ] を押すと変更された設定で基本設定画面にもどります。

- 3 [用紙サイズ] を押します。

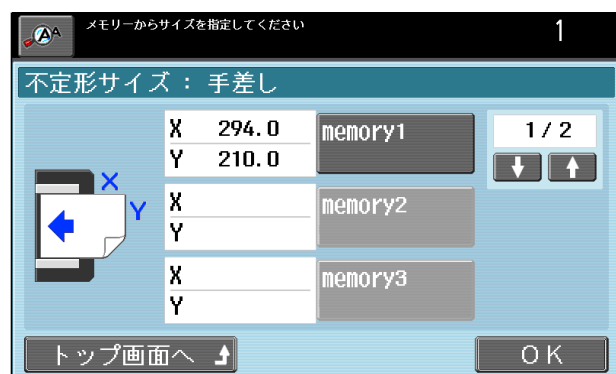


4

〔自動検出〕 または 〔不定形サイズ〕 を選択します。



○ 〔不定形サイズ〕 を押した場合は、目的の用紙サイズが登録されているメモリーキーを選択します。



詳しく説明します

- あらかじめ、不定形サイズのメモリー登録をしていないと〔不定形サイズ〕を押してもメモリーキーを選択できません。
- 不定形サイズの登録については、ユーザズガイド〔コピー機能編〕をごらんください。

5

〔OK〕 を 3 回押します。または 〔トップ画面へ〕 を押します。
基本設定画面にもどります。

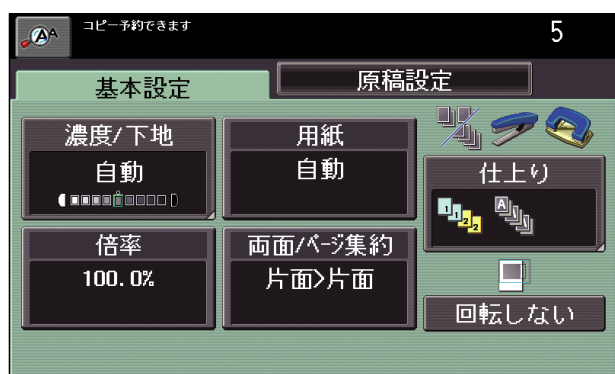
2.11 印刷中に次のコピー原稿を読み込む（コピー予約）

現在のジョブの印刷中に、次のコピージョブの設定や原稿読み込みを行い、印刷完了後に続けて次のコピー原稿を印刷します。

🔍 詳しく説明します

- コピー予約は、実行中のジョブを含めて最大 95 件まで登録できます。
- セットした原稿の読み込み終了後にコピー予約できます。原稿読み込み中に次のジョブは予約できません。

- 1 現在のジョブの印刷中に「コピー予約できます」と表示されたら原稿をセットし、次のコピーのコピー条件を設定します。



- 印刷中画面表示設定が「する」に設定されている場合は、印刷中画面の「コピー予約」を押して、基本設定画面を表示します。
- 原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 1-10) をご覧ください。

- 2 【スタート】を押します。

- 3 実行中のジョブ終了後、次のコピーを開始します。

2.12 読み込み・印刷を一時停止する

原稿の読み込みや印刷の動作を一時停止したいときは、以下の手順にしたがってください。

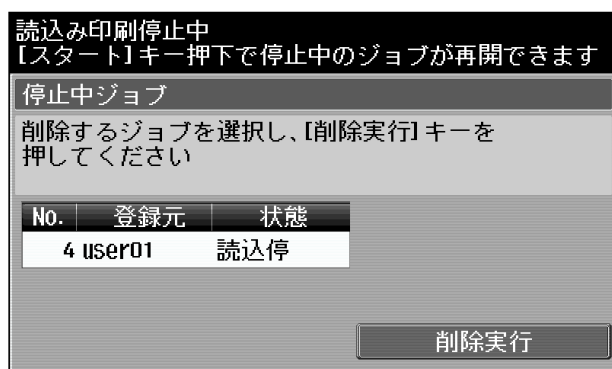
- 1 ジョブの読み込み・印刷中に【ストップ】を押します。



読み込み・印刷が一時停止します。

🔍 詳しく説明します

- 読み込み中ジョブがある場合は、【ストップ】を押すと、読み込みも同時に一時停止します。



読み込み・印刷停止中画面が表示されます。

- 2 【スタート】を押すと、一時停止していた全てのジョブが再開されます。

🔍 詳しく説明します

- 一時停止したジョブを削除する場合は、削除したいジョブを選択し、[削除実行] を押します。
- 削除するジョブは1つずつ選択します。

2.13 コピーの仕上りを確認する（確認コピー）

大量のコピーを行うとき、先に 1 部だけ印刷して仕上りを確認できます。印刷の失敗を未然に防ぐことができます。

🔍 詳しく説明します

- 確認コピーするときは、複数部数を設定してください。
- 確認コピーは、グループ（ページごと）と同時に設定できません。

1

原稿をセットします。

- 原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 1-10) をご覧ください。

2

目的のコピー条件を設定します。

3

【確認コピー】を押します。



- 原稿を原稿ガラス上にセットした場合は、「読み込み終了」を押して【スタート】を押します。

1 部印刷されます。

4

コピー結果を確認します。

- コピー条件の設定を変更するときは、【C】または【リセット】を押して設定しなおしてください。

5

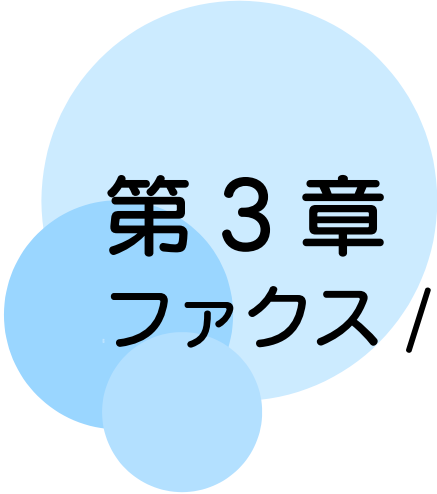
〔印刷実行〕を押します。

お待ちください

ジョブNo.	5
残り全部を印刷するなら〔印刷実行〕キーを押してください	
印刷部数	1 / 5
総印刷枚数	10

印刷実行

残り部数がジョブとして登録されます。



第 3 章

ファクス / スキャン機能の使い方

基本的なファクス／スキャナー送信のしかたについて説明します。

3.1	ファクス／スキャナー操作の流れ	3-2
3.2	宛先を指定する	3-4
3.3	読込みの内容を設定する（読込み設定）	3-13
3.4	プログラムを使う	3-27
3.5	宛先を確認する	3-29

3.1 ファクス／スキャナー操作の流れ

参照

ファクス操作やスキャナー操作について、詳しくはユーザーズガイド〔ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編〕をごらんください。

詳しく説明します

- あらかじめ、標準サイズの画面で設定メニューからファクス設定、ネットワーク設定、宛先登録を行ってください。詳しくは、ユーザーズガイド〔ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編〕〔ネットワーク管理者編〕をごらんください。

ファクス／スキャナー送信をするときの操作の流れを説明します。

- 1 操作パネルの【ファクス / スキャン】を押し、【拡大表示】を押します。

ファクス / スキャン機能の拡大表示画面が表示されます。

- 2 原稿をセットします。

○ 原稿のセット方法については、(p. 1-10)をごらんください。

- 3 宛先を指定します。



- 宛先の指定については、(p. 3-4)をごらんください。
- 【C】を押すと、指定した宛先がクリアされます。

- 4 必要に応じて、読み込み内容の設定をします。

- 読み込み内容の設定については、(p. 3-13)をごらんください。
- 【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定にもどります。

5 【スタート】を押します。



- ファクス機能の送信で、送信結果レポート画面を表示するように設定しているときは、送信結果レポートの出力を確認する画面が表示されます。[はい] を選択して [OK] を押すと、送信結果レポートが印刷されます。
 - 送信を中止する場合は、【ストップ】を押します。
- 原稿の読み込みが始まり、送信されます。

🔍 詳しく説明します

- ファクス機能の送信で、宛先確認表示機能が設定されている場合は、宛先確認の一覧画面が表示されます。宛先を確認して [送信] を押します。
- ファクス機能の送信で、送信結果レポートを印刷するように設定しているときは、送信できなかった場合に、送信結果レポートが出力されます。
- 読み込み中に【ストップ】を押すと、読み込みが一時停止します。

3.2 宛先を指定する

詳しく説明します

- 送信宛先は、設定メニューからあらかじめ登録しておく必要があります。ファクス送信の宛先もあらかじめ登録しておくとう便利です。登録方法について、詳しくはユーザーズガイド「ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をご覧ください。

読込んだデータの送信方法には以下の種類があります。

ネットワークスキャン機能

項目	説明
E-mail 送信	指定した電子メールアドレスに、読込んだデータを添付ファイルとして送信できます。
ファイル送信 (FTP)	FTP サーバーのあるネットワーク環境で、読込んだデータをネットワーク上の FTP サーバー内の指定したフォルダーへ送信できます。高解像度のデータなど、容量の大きなデータの送信に適しています。
ファイル送信 (SMB)	読込んだデータをネットワーク上の特定のコンピューターに直接送信します。 ファイル送信 (SMB) を行うには、データを受信するコンピューターに Windows の共有ファイル設定をあらかじめ行ってください。
ファイル送信 (WebDAV)	WebDAV サーバーのあるネットワーク環境で、読込んだデータをネットワーク上の WebDAV サーバー内の指定したフォルダーへ送信できます。 WebDAV は HTTP の拡張仕様であるため、HTTP のセキュリティー技術をそのまま流用できます。WebDAV サーバーとの通信を SSL で暗号化して、より安全にファイルを送信できます。

ファクス機能

ファクス送信	読込んだデータを相手先のファクス番号を指定して送信します。
--------	-------------------------------

ネットワークファクス機能

インターネットファクス送信	読込んだデータを電子メールの添付ファイル（TIFF 形式）として、イントラネット（企業内ネットワーク）やインターネットを経由して送信します。
SIP ファクス送信	IP ネットワーク上で通信可能なファクスです。SIP（Session Initiation Protocol）を用いて相手先とセッションを確立し、ピアツーピア通信を行います。読込んだデータを、相手先の SIP ファクス番号を指定して送信します。イントラネット内でのみ使用可能です。
IP アドレスファクス送信	IP ネットワーク上で通信可能なファクスです。読込んだデータを、相手先の IP アドレスまたはホスト名を指定して送信します。イントラネット内でのみ使用可能です。

🔍 詳しく説明します

- 同時に複数の宛先を指定できます。
- 手動でファクスの送信 / 受信する場合は［オフフック］を押します。このキーを押すと、ダイヤルトーンがスピーカーから流れます。詳しくは、ユーザズガイド［ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編］をごらんください。インターネットファクス送信、SIP ファクス送信、IP アドレスファクス送信では使用しません。

ここでは、読込んだデータを送信する相手先を指定する手順について説明します。

3.2.1 登録宛先から送信先を選ぶ

あらかじめ登録されている宛先から指定する方法を説明します。
登録宛先画面で表示される宛先キーを押して、宛先を選択します。
送信種類や宛先名から、宛先を検索することもできます。

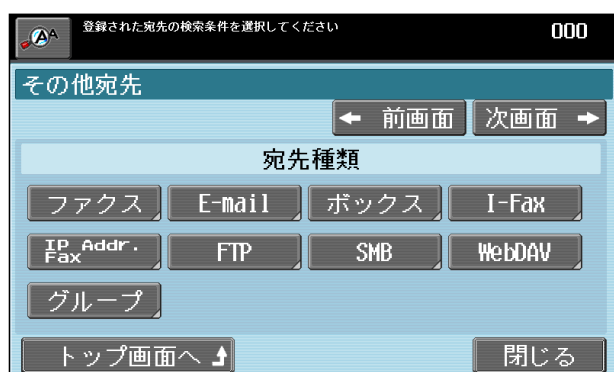
- 1 登録宛先画面で［その他宛先］を押します。



その他宛先画面が表示されます。

2

目的の宛先の送信種類を指定します。



○ [次画面→] を押すと検索文字を指定できます。



○ [グループ] を押すと登録されたグループキーを指定できます。グループ詳細で [全選択] を押すと、グループに登録されている宛先を全て選択します。[全解除] を押すと、選択している宛先が全て解除されます。



○ [トップ画面へ] を押すと変更された設定で登録宛先画面にもどります。

3

目的の宛先を選択して [OK] を押します。

○ 選択を解除するときは、再度選択した宛先を押します。

4

[閉じる] を押します。

3.2.2 送信履歴から宛先を選ぶ

送信履歴から宛先を指定する方法を説明します。

🔍 詳しく説明します

- インターネットファクス送信、SIP ファクス送信、IP アドレスファクス送信では使用しません。

1 「履歴から」タブを押します。



送信履歴のリストが表示されます。

2 目的の宛先を選択します。



- 送信済みの宛先が、順番に 5 件まで表示されます。
- 選択を解除するときは、再度選択した宛先を押します。

3.2.3 LDAP 検索で宛先を選ぶ

LDAP サーバーに登録された E-mail アドレスを検索して、宛先を指定する方法を説明します。

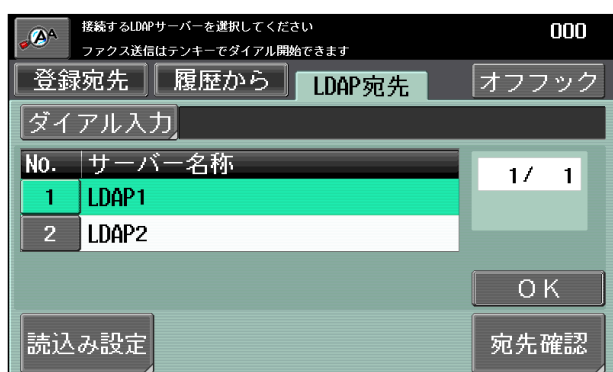
🔍 詳しく説明します

- あらかじめ、LDAP 使用を有効に設定し、LDAP サーバーを登録しておく必要があります。LDAP の設定について、詳しくはユーザーズガイド [ネットワーク管理者編] をごらんください。
- 管理者設定で「手動宛先入力」が禁止に設定されている場合は、LDAP 検索機能は使用できません。「手動宛先入力」の設定について、詳しくはユーザーズガイド [ネットワーク管理者編] をごらんください。

1 [LDAP 宛先] タブを押します。



- LDAP サーバーが複数設定されている場合は検索するサーバーを選択し、[OK] を押します。

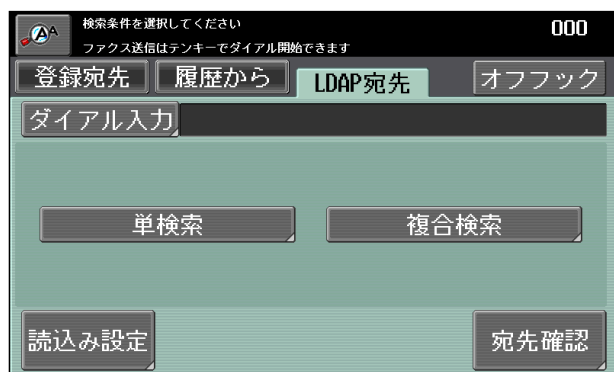


2

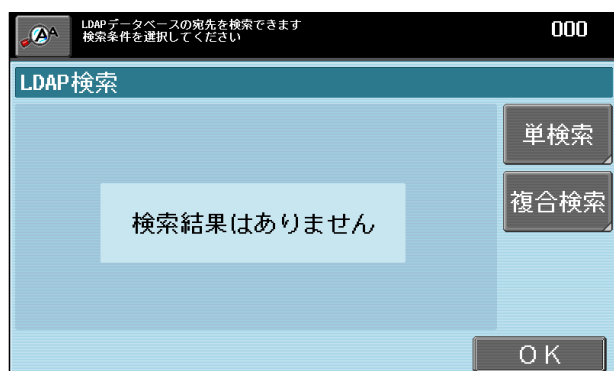
検索方法を選択します。

- 検索キーワードを設定する場合は「単検索」を選択します。複数の検索条件を設定する場合は「複合検索」を選択します。

LDAP サーバーが 1 個の場合



LDAP サーバーが複数の場合

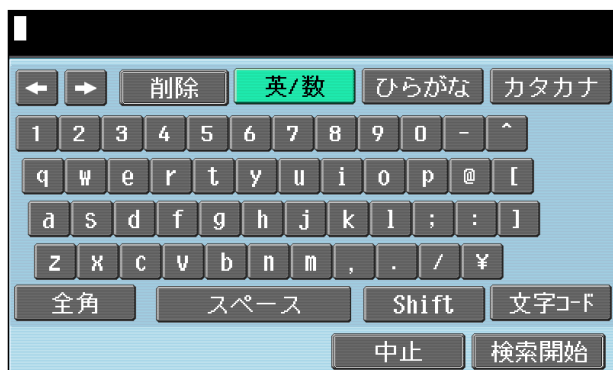


🔍 ひとこと

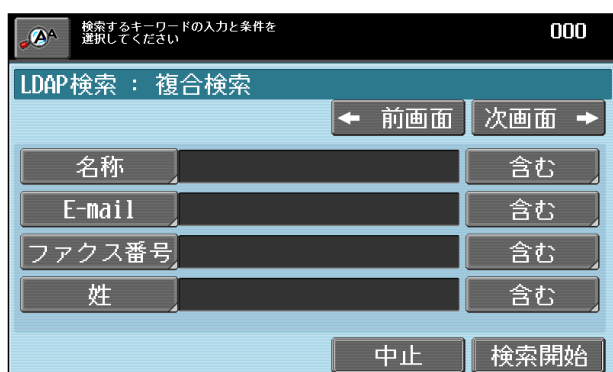
- LDAP サーバーの設定により、認証が必要な場合があります。

- 3 検索条件を設定し、[検索開始] を押します。

単検索の場合



複合検索の場合



検索結果が表示されます。

- 4 目的の宛先を選択して [OK] を押します。
○ 選択を解除するときは、再度選択した宛先を押します。

3.2.4 番号を直接入力する

ファクス送信する場合に、ファクス番号または宛先登録番号を直接入力して、宛先を指定する方法を説明します。

🔍 詳しく説明します

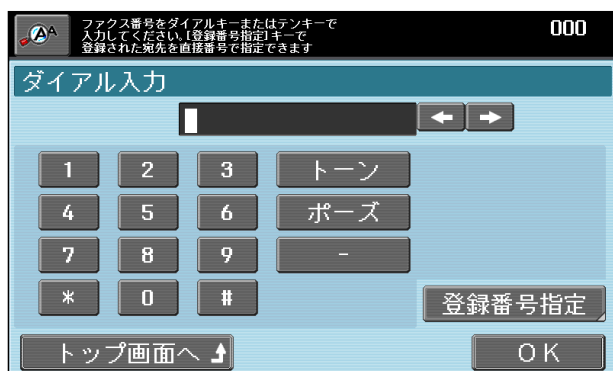
- 管理者設定で「手動宛先入力」が禁止に設定されている場合は、番号の入力は使用できません。「手動宛先入力」の設定について、詳しくはユーザズガイド〔ネットワーク管理者編〕をごらんください。
- 拡大表示画面では、直接入力による SIP ファクス送信はできません。

1 [ダイヤル入力] を押します。

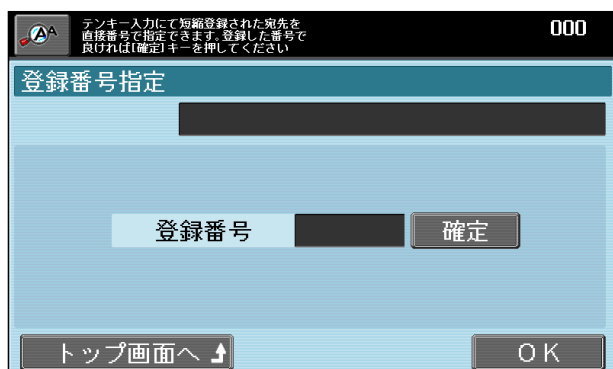


ダイヤル入力画面が表示されます。

2 表示された画面またはテンキーでファクス番号を入力します。



または「登録番号指定」を押して、テンキーで宛先登録番号を入力して「確定」を押します。



- 引き続き宛先を設定するときは、「次宛先」を押して入力が続けます。
- 「トップ画面へ」を押すと変更された設定で登録宛先画面にもどります。

ファクス番号を入力する場合

- [トーン]：ダイヤル（パルス）回線を使用している場合に、プッシュトーンを送出するために押します。ファクス情報サービスを利用する場合などに使用します。画面には [T] が表示されます。
ダイヤル（パルス）回線の場合は、【*】を使ってプッシュトーンに切換えることができます。
- [ポーズ]：ダイヤルに間をあけたいときに押します。[ポーズ] 1 回で 1 秒の間隔を入力することができ、繰り返して入力することもできます。画面には [P] が表示されます。
PBX（構内交換機）接続が有効に設定されている場合は、内線から外線に発信するとき、より確実にダイヤルするために、「0」などの外線番号のあとに [ポーズ] を押します。画面には [P] と表示されます。
- [-]：ダイヤルするときの区切り記号として入力します。ダイヤルには影響がありません。画面には [-] が表示されます。
- 入力を間違えた場合は、[←] [→] で間違えた文字にカーソルを移動させ、[削除] を押します。

3

[OK] を押します。

- 宛先登録番号を入力した場合は、[OK] を 2 回押します。

3.3 読込みの内容を設定する（読込み設定）

ファクス / スキャン画面で「読込み設定」を押し、原稿読込みの詳しい内容を設定します。

3.3.1 片面 / 両面

原稿の状態に応じて ADF での読込み方法を設定します。

読込み方法には、以下の種類があります。

項目	説明
片面	片面原稿を読込む場合に押します。
両面	両面原稿を読込む場合に押します。
表紙 + 両面	1 枚目の原稿を片面、2 枚目以降の原稿を両面原稿として読込む場合に押します。

1

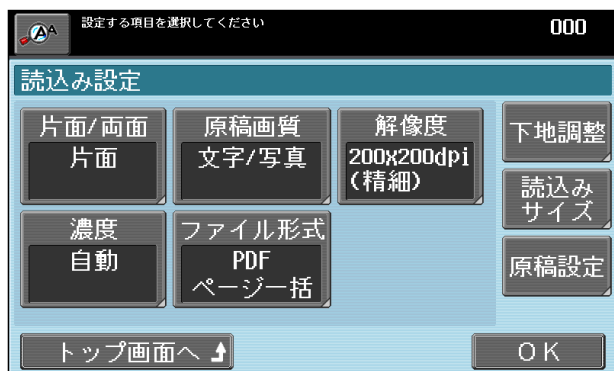
ファクス / スキャン画面の「読込み設定」を押します。



読込み設定画面が表示されます。

2

「片面 / 両面」を押します。



○「トップ画面へ」を押すと変更された設定で登録宛先画面にもどります。

片面 / 両面画面が表示されます。

3 読み込みの種類を選択します。



4 [OK] を 2 回押します。または [トップ画面へ] を押します。

3.3.2 原稿画質

原稿の内容に応じて原稿画質を設定します。

原稿画質には、以下の種類があります。

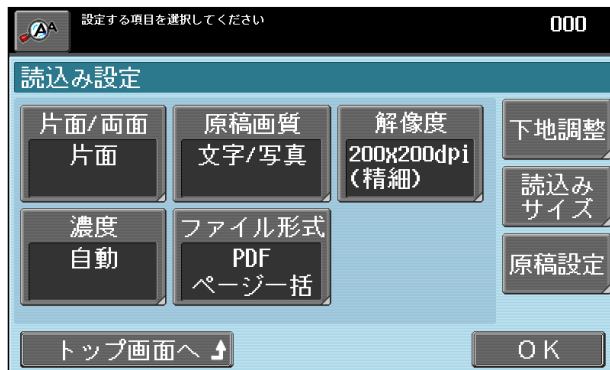
項目	説明
文字	文字だけの原稿を読み込む場合に押します。このモードを選択して写真原稿を読み込むと、写真の中間色が再現されず、黒くなります。
文字 / 写真	文字と写真（ハーフトーン）が混ざった原稿を読み込む場合に押します。1 ページ中に混ざっていても、複数ページに渡って混ざっていても、どちらの場合もこのモードを選択します。
写真	写真（ハーフトーン）だけの原稿を読み込む場合に押します。
薄文字原稿	鉛筆書きなど、薄く書かれた文字の原稿を読み込む場合に押します。

- 1 ファクス / スキャン画面の「読み込み設定」を押します。



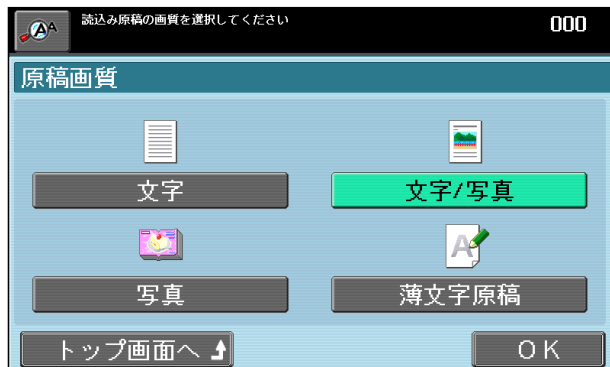
読み込み設定画面が表示されます。

- 2 「原稿画質」を押します。



○「トップ画面へ」を押すと変更された設定で登録宛先画面にもどります。
原稿画質画面が表示されます。

- 3 セットした原稿に合った画質を選択します。



- 4 「OK」を2回押します。または「トップ画面へ」を押します。

3.3.3 解像度

原稿を読み込む細かさを設定します。
解像度には、以下の種類があります。

項目	説明
200 × 100 dpi（普通）	送信時間を短くしたい場合に押します。
200 × 200 dpi（精細）	通常の前稿を読み込む場合に押します。
300 × 300 dpi	通常の前稿をより高い解像度で読み込みたい場合に押します。
400 × 400 dpi（高精細）	小さな文字や図などがある前稿を読み込む場合に押します。
600 × 600 dpi（超高精細）	精細な図面や文字などがある特に細かい前稿を読み込む場合に押します。

1

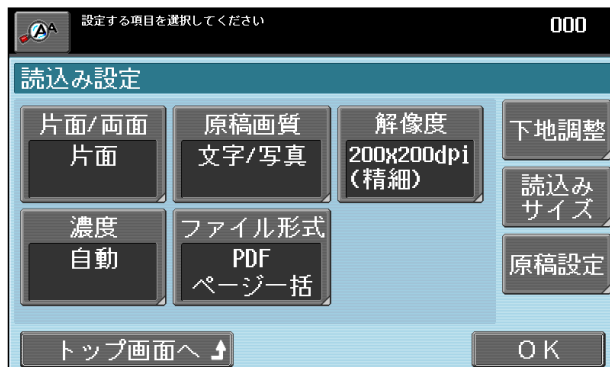
ファクス / スキャン画面の「読み込み設定」を押します。



読み込み設定画面が表示されます。

2

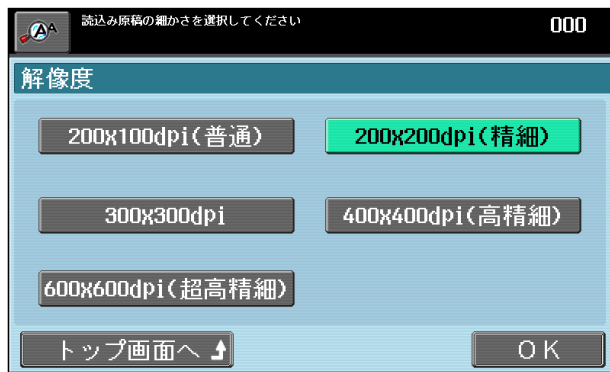
「解像度」を押します。



○「トップ画面へ」を押すと変更された設定で登録宛先画面にもどります。
解像度画面が表示されます。

3

解像度を選択します。



- より精細に読み込むほど、送信する情報量が増え、通信時間が長くなります。
- ファクス送信で「600 × 600 dpi（超高精細）」や「400 × 400 dpi（高精細）」を選択した場合、受信側にその解像度で受信をする機能がないときは、相手側の受信能力に応じた解像度で送信されます。

4

「OK」を2回押します。または「トップ画面へ」を押します。

3.3.4 濃度

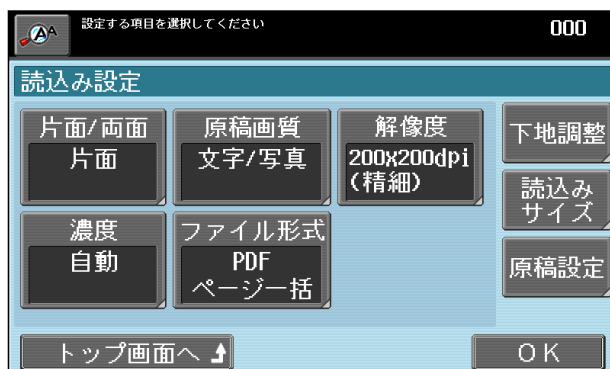
原稿の濃さに応じて濃度を設定します。
濃度は 9 段階に設定できます。

- 1 ファクス / スキャン画面の「読込み設定」を押します。



読込み設定画面が表示されます。

- 2 「濃度」を押します。



○「トップ画面へ」を押すと変更された設定で登録宛先画面にもどります。
濃度画面が表示されます。

3 目的の濃度に調整します。



- [うすく]、[こく] を押すごとに、1 段階ずつ濃度が増減します。
- [ふつう] を押すと、中央（標準値）にもどります。
- [自動] を押すと、原稿の濃度を自動的に判断し、最適な濃度を選択します。

4 [OK] を 2 回押します。または [トップ画面へ] を押します。

3.3.5 ファイル形式

読込んだデータを保存するファイル形式を選択します。選択できるファイル形式には以下の種類があります。

項目	説明
PDF	PDF 形式で保存します。
TIFF	TIFF 形式で保存します。
XPS	XPS 形式で保存します。

🔍 詳しく説明します

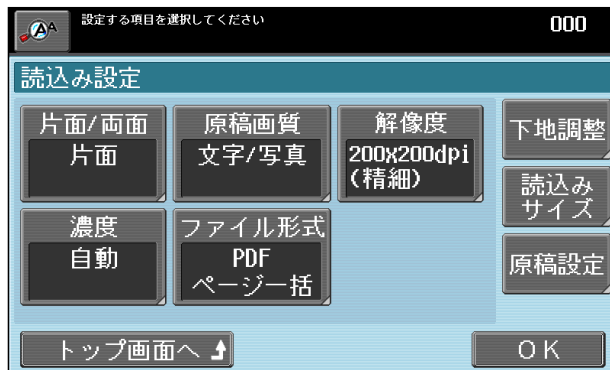
- ファクス送信およびインターネットファクス送信の場合は、ファイル形式が TIFF に固定されます。

- 1 ファクス / スキャン画面の「読み込み設定」を押します。



読み込み設定画面が表示されます。

- 2 「ファイル形式」を押します。



○「トップ画面へ」を押すと変更された設定で登録宛先画面にもどります。
ファイル形式画面が表示されます。

- 3 ファイル形式とページ設定を選択します。



○ページ設定で「一枚毎」を選ぶと、原稿 1 枚ごとにひとつのファイルを作成します。

- ページ設定で「ページ一括」を選ぶと、読み込んだ全ての原稿をまとめてひとつのファイルを作成します。

4 「OK」を2回押します。または「トップ画面へ」を押します。

3.3.6 下地調整

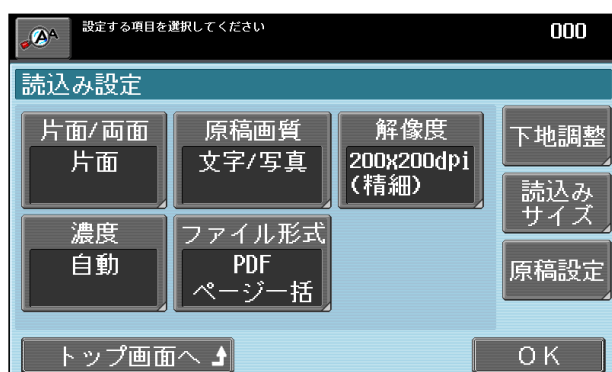
読み込み時に、原稿の下地の濃さを調整します。読み込む原稿が色の付いた用紙の場合は、色を読み込んで下地が黒くなることがあります。そのようなときに下地の濃さを調整できます。

1 ファクス / スキャン画面の「読み込み設定」を押します。



読み込み設定画面が表示されます。

2 「下地調整」を押します。



- 「トップ画面へ」を押すと変更された設定で登録宛先画面にもどります。
下地調整画面が表示されます。

3 目的の濃さに調整します。



- [うすく]、[こく] を押すごとに、1 段階ずつ濃度が増減します。
- [ふつう] を押すと、中央（標準値）にもどります。

4 [OK] を 2 回押します。または [トップ画面へ] を押します。

3.3.7 読み込みサイズ

読み込む用紙のサイズを設定します。読み込みサイズの設定方法には以下の種類があります。

項目	説明
自動	セットした原稿の 1 枚目のサイズを検知します。
A 系・B 系	A4、B5 など決まったサイズと方向を選択します。
インチ系	インチ系の決まったサイズと方向を選択します。
その他	A 系・B 系、インチ系以外の決まったサイズと方向を選択します。

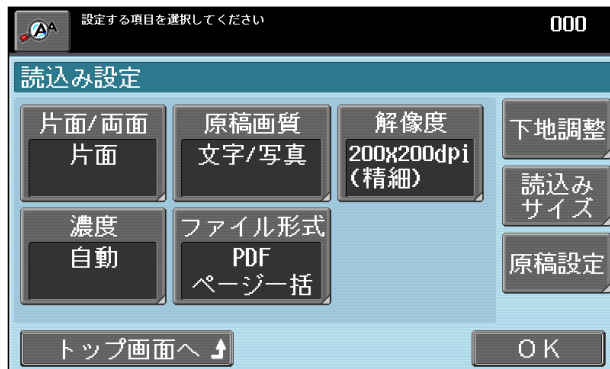
1 ファクス / スキャン画面の「読み込み設定」を押します。



読み込み設定画面が表示されます。

2

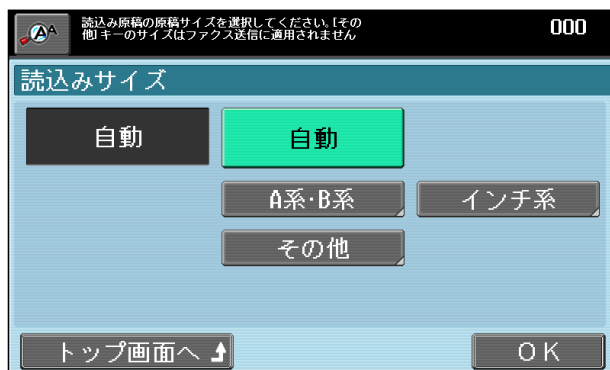
「読み込みサイズ」を押します。



○「トップ画面へ」を押すと変更された設定で登録宛先画面にもどります。
読み込みサイズ画面が表示されます。

3

サイズと方向を選択します。



○「自動」以外のキーを押した場合は、目的の用紙サイズを選択し、「OK」を押します。

4

「OK」を2回押します。または「トップ画面へ」を押します。

3.3.8 原稿設定

原稿のとじしろ位置やセット方向を設定します。

項目	説明
原稿セット方向	原稿の天地の位置を選択します。読込んだあとに天地が正しくなるようデータを処理します。 選択できる原稿セット方向について詳しくは、「 原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向） 」（p. 1-16）をごらんください。
原稿のとじしろ	原稿についているパンチ穴あけやステーブルどめなどのとじしろの位置を指定します。また、両面原稿をセットするときはとじてある位置（めくり方向）を指定します。 両面原稿を読込むとき、とじしろの位置が逆にならないよう補正します。 左開き / とじ：原稿の左側にとじしろがある原稿 上開き / とじ：原稿の上側にとじしろがある原稿 自動：297 mm 以下のサイズは長辺をとじる、297 mm を超えるサイズは短辺をとじると判断します。

これらの機能は同時に組み合わせて設定できます。

🔍 詳しく説明します

- ファクス機能の場合は、「原稿セット方向」は使用しません。

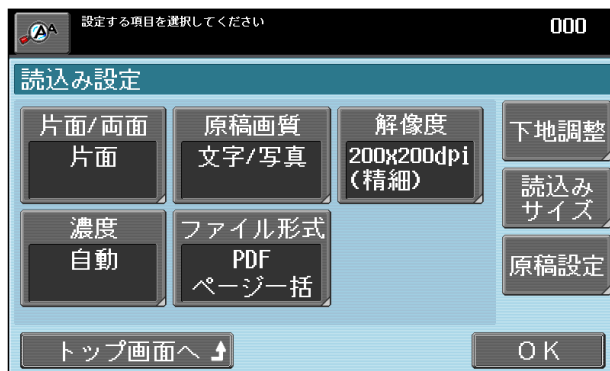
1 ファクス / スキャン画面の「読込み設定」を押します。



読込み設定画面が表示されます。

2

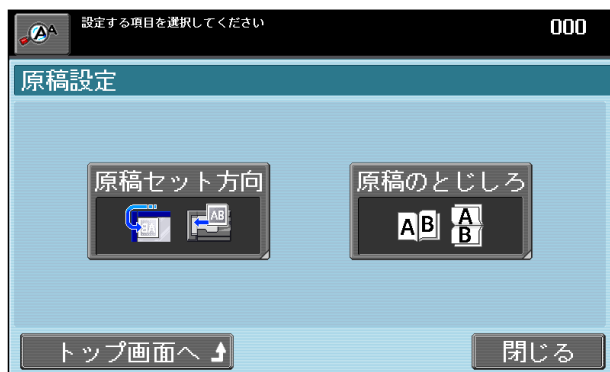
「[原稿設定]」を押します。



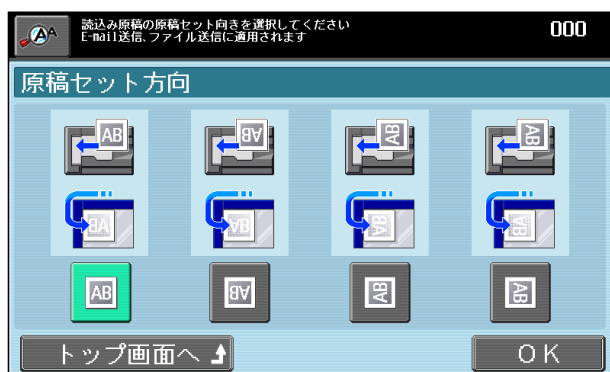
○「[トップ画面へ]」を押すと変更された設定で登録宛先画面にもどります。
原稿設定画面が表示されます。

3

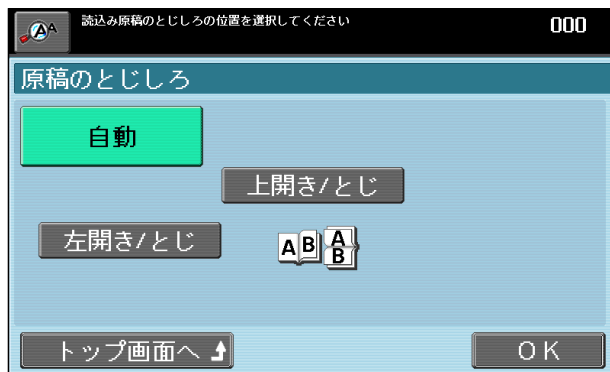
原稿の内容を設定します。



○「原稿セット方向」を選択したときはセット方向を選択する画面が表示されます。方向を選択し、「[OK]」を押します。



- 「原稿のとじしろ」を選択したときは、原稿のとじしろ位置を選択する画面が表示されます。とじしろの位置を選択し、[OK] を押します。



4

「閉じる」を押し「OK」を押します。または「トップ画面へ」を押します。

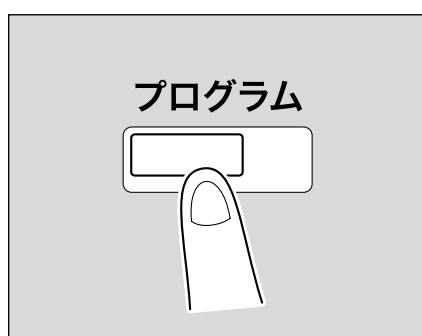
3.4 プログラムを使う

送信先や読み込みの設定などをまとめて登録したものを「プログラム」といいます。いつも決まった読み込み条件で送信するときに便利です。ここでは、あらかじめ登録したプログラムを指定して送信する方法を説明します。

🔍 詳しく説明します

- プログラムに宛先が登録されていない場合は、宛先は設定されません。プログラムの登録について、詳しくはユーザズガイド [ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編] をごらんください。

1 ファクス / スキャン画面で【プログラム】を押します。



ファクス / スキャンプログラム呼出し画面が表示されます。

2 目的のプログラムキーを選択します。



- [ページ一覧] を押すと、プログラムキーの表示をページ単位で指定できます。
- [←前ページ] [次ページ→] を押すと表示されているページの前後のページが表示されます。
- [↑] [↓] を押してページ内の表示を切換えます。
- 設定を解除する場合は、もう 1 度選択したキーを押し、反転表示を解除します。
- プログラムは 1 件のみ指定できます。

3

[OK] または [トップ画面へ] を押します。

- 複数の宛先を設定する場合は、宛先を追加します。詳しくは「[宛先を指定する](#)」(p. 3-4) をご覧ください。

3.5 宛先を確認する

設定されている宛先の確認ができます。宛先の削除や詳細確認もできます。

- 1 ファクス / スキャン画面で「宛先確認」を押します。



宛先確認画面が表示され、設定された宛先を確認できます。

- 2 宛先のリストから目的の宛先を選択します。



○「トップ画面へ」を押すと登録宛先画面にもどります。

- 3 「宛先詳細」を押し、宛先詳細を確認します。



- 宛先を選択して「削除」を押すと、削除を確認する画面が表示され、宛先の削除ができます。

⚠ この宛先を削除しますか?

登録番号	E0001
登録種別	E-mail
登録名	tokyo
宛先	tokyo@test.local

4

「閉じる」を押します。



第 4 章

ログインとログアウト

ユーザー認証／部門認証が設定されている場合の、ログイン／ログアウトのしかたについて説明します。

4.1 ログイン画面が表示されたら 4-2

4.1 ログイン画面が表示されたら



参照

ログインについて、詳しくはユーザーズガイド〔コピー機能編〕をごらんください。

4.1.1 ユーザー名入力画面が表示されたら

「ログインするユーザー名とパスワードを入力し〔ログイン〕キー、または〔ID〕キーを押してください」と表示されている場合は、本機はユーザー認証を行っています。

ユーザー認証設定が行われている場合は、ユーザー名とパスワードを入力しないと本機を操作できません。下の画面が表示されたときはユーザー名とパスワードを入力してください。

ユーザー名とパスワードは、本機の管理者にご確認ください。

1

〔ユーザー名〕を押します。

○ 表示される画面は管理者設定の認証方式の設定により異なります。



詳しく説明します

- 本機に認証装置（指静脈 生体認証タイプ）が装着されている場合は、認証装置（指静脈 生体認証タイプ）に指を置くと認証が行われ、基本設定画面が表示されます。認証装置（指静脈 生体認証タイプ）を使った認証のしかたや登録のしかたについては、ユーザーズガイド〔コピー機能編〕をごらんください。
- 本機に認証装置（IC カード認証タイプ）が装着されている場合は、認証装置（IC カード認証タイプ）にIC カードを置くと認証が行われ、基本設定画面が表示されます。認証装置（IC カード認証タイプ）を使った認証のしかたや登録のしかたについては、ユーザーズガイド〔コピー機能編〕をごらんください。
- 〔ユーザー名一覧〕が表示されている場合は、一覧から目的のユーザー名を選択できます。〔ユーザー名一覧〕を押して目的のユーザー名を選択し、〔OK〕を押します。手順 3 へ進みます。
- 認証方式の設定でパブリックユーザーの使用を許可している場合は、ユーザー名、パスワードを知らない方でも〔パブリックユーザー〕を押すと本機を使用できます。

- ユーザー認証で外部サーバー認証が設定されている場合は、[サーバー名称] が表示されます。[サーバー名称] を押して目的のサーバーを選択します。

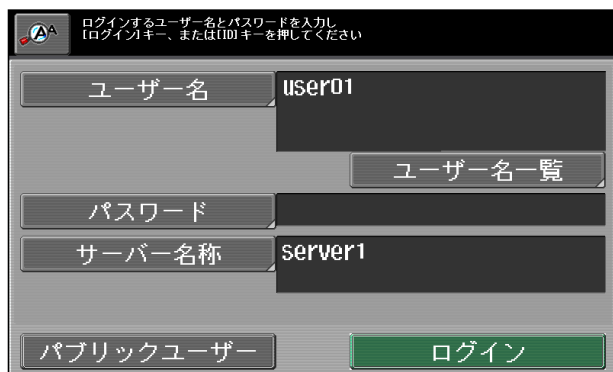
- 2** 表示されるキーボードまたはテンキーからユーザー名を入力し、[OK] を押します。



🔍 詳しく説明します

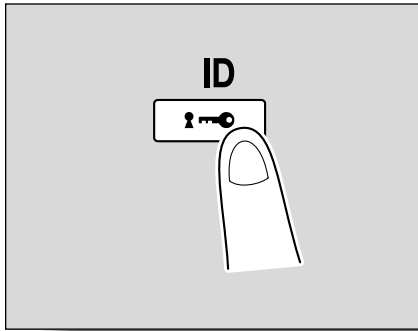
- [英 / 数] [ひらがな] [カタカナ] [全角] [Shift] で表示される文字が切替わります。
- [文字コード] を押すと 16 進数の文字コードで、文字や記号を入力できます。コード表は、ユーザーズガイド [コピー機能編] をごらんください。
- 入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。
- 入力した文字を元にもどす場合は、[元に戻す] を押します。

- 3** [パスワード] を押します。



- 4 表示されるキーボードまたはテンキーからパスワードを入力し、
[OK] を押します。
- [中止] を押すと設定変更されずにもとの画面にもどります。

- 5 [ログイン] または、【ID】を押します。



基本設定画面が表示されます。

- 管理者設定で部門管理設定をしている場合は、部門認証画面が表示されます。
ただし、管理者設定でユーザー認証 / 部門認証の連動を [連動する] に設定し、
ユーザーと部門の関連付けがされている場合は、部門認証画面は表示されませ
ん。

- 6 目的の操作が終了したら、【ID】を押します。
ログアウト確認画面が表示されます。

A screenshot of a confirmation dialog box titled 'ログアウトしますか?' (Are you sure you want to log out?). The dialog contains two input fields: 'ユーザー名' (Username) with the value 'user01' and '部門名' (Department Name) with the value 'abc'. Below the fields are three buttons: 'はい' (Yes), 'いいえ' (No), and 'OK'. The 'いいえ' button is highlighted in green.

- 7 [はい] を選択して [OK] を押します。
もとの画面にもどります。

4.1.2 部門名またはパスワード入力画面が表示されたら

「ログインする部門名とパスワードを入力し [ログイン] キー、または [ID] キーを押してください」と表示されている場合は、本機は部門管理を行っています。

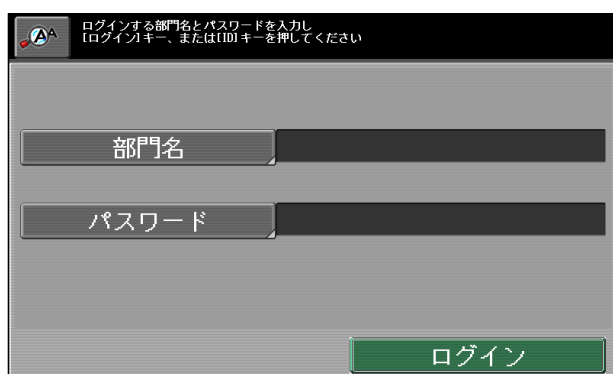
部門管理設定が行われている場合は、部門名とパスワードを入力しないと本機を操作できません。下の画面が表示されたときは部門名とパスワードを入力してください。

部門名とパスワードは、本機の管理者にご確認ください。

🔍 詳しく説明します

- 管理者設定の部門管理認証方式が [パスワードのみ] に設定されている場合は、パスワードを入力するだけでログインできます。詳しくは、ユーザーズガイド [コピー機能編] をごらんください。

1 [部門名] を押します。



○ 表示される画面は管理者設定の認証方式の設定により異なります。

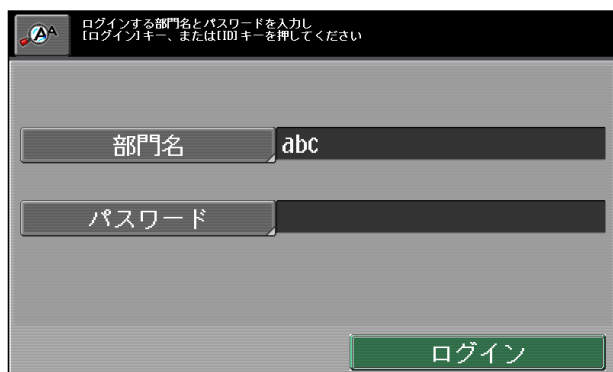
2 表示されるキーボードまたはテンキーから部門名を入力し、[OK] を押します。



🔍 詳しく説明します

- [Shift] で表示される文字が切換わります。
- 入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。
- 入力した文字を元にもどす場合は、[元に戻す] を押します。

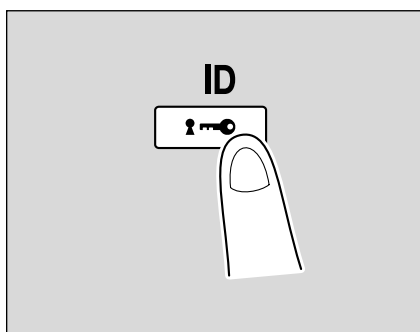
3 [パスワード] を押します。



4 表示されるキーボードまたはテンキーからパスワードを入力し、[OK] を押します。

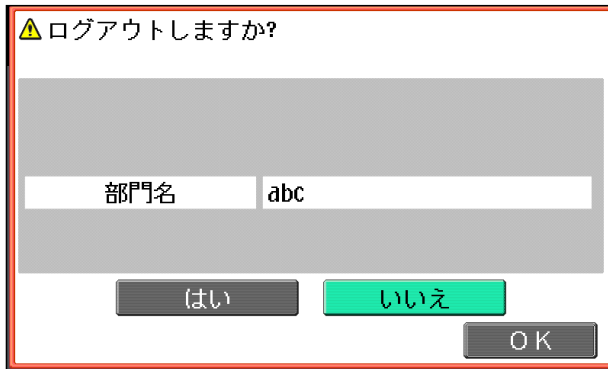
○ [中止] を押すと設定変更されずにもとの画面にもどります。

5 [ログイン] または、【ID】を押します。



基本設定画面が表示されます。

- 6 目的の操作が終了したら、【ID】を押します。
ログアウト確認画面が表示されます。



- 7 [はい] を選択して [OK] を押します。
もとの画面にもどります。
○ 表示される画面は管理者設定の内容により異なります。

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》
販売店名
電話番号
担当部門
担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》
TEL

コニカミルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング